

# データ通信専用機種 L-02C

ISSUE DATE:

10.12

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

<sup>NTT</sup>  
docomo

目次／注意事項

ご使用前の確認

セットアップ

L-02C 接続ソフト

モバイルブロードバンド

通信の手動設定

海外利用

付録／困ったときには

## ドコモ LTE・W-CDMA・GPRS方式

このたびは「データ通信専用機種L-02C」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。L-02Cは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

### 本端末のご使用にあたって

- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中で電波が届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご利用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用にならない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本立っている状態で移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、周りの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- 本端末は無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなどして送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の送信内容と異なる内容となって受信される場合があります。
- 本端末の誤動作、あるいは停電時などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末は、ドコモの提供するXiネットワーク、FOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。 This terminal can be used only via Xi network, FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.

- 本端末では、iモード機能（iモードメール、iモードのサイト（番組）への接続、iアプリなど）には対応しておりません。

### はじめて本端末をお使いになる方へ

はじめて本端末をお使いの方は、まず、本書を次の順序でお読みください。本端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひとつおご理解いただくことができます。

1. 「安全上のご注意」を確認しましょう…………… P7
2. 本端末の各部の名称と機能を確認しましょう…………… P18
3. 本端末をパソコンにセットしましょう…………… P24
4. お使いのパソコンに本端末を認識させましょう…………… P30
5. 本端末で通信するための設定をしましょう…………… P56

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

■ 取扱説明書（PDFファイル）ダウンロード  
<http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html>

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

# 本書の見かた／引きかた

## 記載内容について

L-02Cの取扱説明書は、『L-02C取扱説明書～接続ガイド～』と『L-02C取扱説明書』（付属のCD-ROMに収録）（本書）で構成されています。

### ■『L-02C取扱説明書～接続ガイド～』

パソコンへの接続方法、困ったときの対処方法、L-02Cの仕様など、次の内容を記載しています。

- 目次／注意事項
- ご使用前の確認
- セットアップ
- 付録／困ったときには

### ■『L-02C取扱説明書』（付属のCD-ROMに収録）（本書）

上記『L-02C取扱説明書～接続ガイド～』の内容に加えて、専用アプリケーションによる通信設定方法など、次の内容を記載しています。

本書はPDFでの提供となります。ご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。

- L-02C 接続ソフト
- モバイルブロードバンド
- 通信の手動設定
- 海外利用

## 本書の引きかたについて

本書では、知りたい機能やサービスがすぐに探せるように、次の検索方法を用意しています。

### 索引から

→ P124

探したい機能名やサービス名がわかっているときは、ここから探します。

### 表紙インデックスから

→ 表紙

表紙のインデックスを利用して、機能やサービスを探します。

### 目次から

→ P5

機能ごとに分類された目次から探します。

### 主な機能から

→ P6

主な機能を利用したい場合はここから探します。

次ページで  
詳しく説明  
しています。

- この『L-02C取扱説明書』の本文中において、「L-02C」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- この『L-02C取扱説明書』の本文中において、「Windowsパソコン」「Mac」の総称を「パソコン」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- お使いの環境によっては、操作手順や画面が一部異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

Macintosh版のL-02C 接続ソフト（ドライバ含む）のインストールを例に記載ページを探す方法を説明します。

## 索引から

### ▶P124

次の例のように、機能名やサービス名などを探します。

インストール	
通信設定ファイル（ドライバのみ）	24、28
Flash Player（Macintoshの場合）	48
Flash Player（Windowsの場合）	37
L-02C 接続ソフト（ドライバ含む） （Macintoshの場合）	43
L-02C 接続ソフト（ドライバ含む） （Windowsの場合）	33
エラーメッセージ	116
<b>カ</b>	
海外利用	
海外通信事業者を検索	92
海外で利用する前の確認	91
海外で利用できる通信サービス	90
海外利用時のネットワーク設定	92
各部の名称と機能	18
環境条件	119
環境設定	56

P43  
Macintosh版の  
L-02C 接続ソフト  
（ドライバ含む）の  
インストールの説明  
ページへ

次のページへ

## 表紙インデックスから

### ▶表紙

次の例のように、表紙インデックス→章の最初のページ→目的のページの順に探します。

目次／注意事項	
ご使用前の確認	
セットアップ	
L-02C 接続ソフト	
モバイルブロードバンド	
通信の手動設定	

<b>セットアップ</b>	
セットアップについて	30
Windows版	33
Macintosh版	43

タイトルを記載  
しています。

知っておくと便利  
な事項、および操作  
へのアドバイスな  
どの内容を記載し  
ています。

### Macintosh版

L-02C 接続ソフトのインストールは、利用するパソコンに初めて本端末を接続するときのみ行います。

※ 以前で言うMacの機種「イメージ」は「Mac OS X 10.6」の場合の例です。  
[Mac OS X 10.6] の場合には機種「イメージ」などが異なります。

#### お知らせ

- ・ インストールを行う時は、OSを起動してからUSBポートに本端末を取り付けてください。
- ・ 本端末からインストール実行中は、付属のCD ROMを、CDドライブに入れないでください。
- ・ インストール中は、本端末を取り外さないでください。
- ・ インストールを始める前に、起動しているアプリケーションをすべて終了させてください。ウイルスチェックソフトを停止し、Mac OS上に接続しているプログラムも終了させてください。
- ・ インストールを行う場合、必ず管理者権限を持つ「サザンアカウント」で行ってください。

### L-02Cを使用するための準備を行う

#### 本端末でセットアップを行う

- 1 パソコンの電源を入れ、OSを起動する
- 2 本端末をパソコンに接続する  
デスクトップにCD ROMのアイコンが表示されます。
- 3 CD ROMのアイコンをダブルクリックする
- 4 [L-02C 接続ソフト インストーラー.pkg]をダブルクリックする



操作手順を記載し  
ています。

各手順を操作する  
際のポイントとな  
る画面を記載して  
います。お使いのパソコン画面と照らし合わせてご覧ください。  
数値や設定、任意に入力する文字などはすべて一例です。

インデックス：  
章ごとに検索できます。

セットアップ 43

- ※：上記のページはサンプルです。本文中のページとは異なります。
- ※：本書の掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

# 目次

本書の見かた／引きかた	1
目次	5
L-02Cの主な機能	6
安全上のご注意（必ずお守りください）	7
取り扱い上の注意	13
本体付属品	16

<b>ご使用前の 確認 17</b>	各部の名称と機能 ドコモUIMカードを使う 本端末から利用できる通信 本端末のパソコンへの取り付け方法
<b>セットアップ 29</b>	セットアップについて Windows版 Macintosh版
<b>L-02C 接続ソフト 51</b>	L-02C 接続ソフトについて パケット通信を利用する 環境設定 最新ソフトウェアを確認する
<b>モバイルブ ロードバンド 63</b>	モバイルブロードバンドについて モバイルブロードバンドで接続する モバイルブロードバンドを切断する 接続先（APN）の設定を変更する ドコモUIMカードを設定する
<b>通信の手動 設定 69</b>	Windowsの場合

## 海外利用 89

国際ローミング（WORLD WING）の概要  
海外で利用できるサービス  
海外でご利用になる前の確認  
通信事業者の検索方法を設定する  
ネットワークを設定する

## 付録／困った ときには 95

ATコマンドについて  
ATコマンド一覧  
故障かな？と思ったら  
こんな表示が出たら  
保証とアフターサービス  
ソフトウェア更新について  
主な仕様  
輸出管理規制  
知的財産権  
索引

## L-02Cの主な機能

[Xi] (クロッシィ) とは、LTE (Long Term Evolution) という国際標準化された通信規格に支えられたドコモのサービス名称です。FOMA (Freedom Of Mobile multimedia Access) とは、第3世代移動通信システム (IMT-2000) の世界標準規格の1つとして設定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

### ■ Xiデータ通信に対応

受信最大37.5Mbps、送信最大12.5Mbpsの高速データ通信 (Xiエリア内一部の屋内施設では受信最大75Mbps、送信最大25Mbps)。光回線並みのスピードと常時接続に近い短時間アクセスで、ブロードバンドを快適に楽しめます。

- 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。
- Xiエリア外の場合、FOMAエリアでもご利用いただけます。
- Xi対応エリアの詳細についてはドコモのホームページをご確認ください。

### ■ FOMAハイスピードエリアに対応

受信最大7.2Mbps、送信最大5.7Mbps (ベストエフォート方式) の高速パケット通信を楽しむことができます。

- 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。
- 送信時最大5.7Mbpsの対応エリアの詳細についてはドコモのホームページをご確認ください。
- FOMA ハイスピードエリア内であっても、場所によっては送受信ともに最大384kbpsの通信となる場合があります。
- FOMAハイスピードエリア外のFOMAエリアにおいては、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。

### ■ 国際ローミングサービス対応

海外でも3GネットワークやGPRSネットワークを利用して、パソコンからデータ通信ができます。▶P90

- ※ 「WORLD WING」は通常ご契約時にあわせてお申込みいただいておりますが、My docomo、ドコモショップおよびドコモインフォメーションセンターでご確認ください。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 <b>危険</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 <b>警告</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 <b>禁止</b>	禁止（してはいけないこと）を示します。
 <b>分解禁止</b>	分解してはいけないことを示す記号です。
 <b>水濡れ禁止</b>	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 <b>指示</b>	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。

- 「安全上のご注意」は下記の4項目に分けて説明しています。
 

本端末、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）	8
本端末の取り扱いについて	9
ドコモUIMカードの取り扱いについて	11
医用電気機器近くでの取り扱いについて	11

## 本端末、ドコモUIMカードの取り扱いについて (共通)

### 危険



禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



### 警告



禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

USBコネクタに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

使用中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末を接続しているパソコンの電源をお切りください。

ガスに引火する恐れがあります。

## 注意



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。  
落下して、けがの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。  
火災、やけど、感電の原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。  
けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。  
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

## 本端末の取り扱いについて

### 警告



禁止

本端末内のドコモUIMカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。  
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末を接続しているパソコンの電源を切ってください。  
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。  
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末をUSBポートから抜いてください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例  
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。  
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



注意



禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。  
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上  
ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について⇒P12「材質一覧」



指示

本端末を開閉する際は、指などを挟まないようご  
注意ください。

けがなどの事故の原因となります。

## ドコモUIMカードの取り扱いについて



### 注意



指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。  
けがの原因となります。

## 医用電気機器近くでの取り扱いについて

- 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。



### 警告



指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、パソコンの電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、パソコンの電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、パソコンの電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。  
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

## 材質一覧

使用箇所	材質 / 表面処理
外装ケース (フロント部)	PC LUPLOY SC1004A (KPA1) / SF CLEAR (無光 100%)
外装ケース (リア部：側面・裏面)	PC LUPLOY SC1004A (KPA1) / SF CLEAR (無光 100%)
リアカバー	PC LUPLOY SC1004A (KPA1) / SF CLEAR (無光 100%)
フロントカバー	PC LUPLOY SC1004A (EM59P) / SSCP 160 NCB (有8：無2)
外装ケース (リア部：表面)	PC LUPLOY SC1004A (EM59P) / SSCP 160 NCB (有8：無2)
ストッパー	URETHANE
電源ランプ	ILD-7550 / 拡散 PC (Milky)
通信状態表示ランプ	ILD-7550 / 拡散 PC (Milky)
USBコネクタブラケット	LG化学・SC2302 (KA02)・ PC+GF30% / SF CLEAR (無光 100%)

## 取り扱い上の注意

### 共通のお願い

- 水をかけないでください。  
本端末、ドコモUIMカードは防水性能を有しております。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。  
アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。  
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れる原因となりますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。  
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末に無理な力がかからないように使用してください。  
多くのものが詰まった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、内部基板などの破損、故障の原因となります。
- 本端末に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

### 本端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。  
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。  
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。  
故障、破損の原因となります。

- パソコンにUSBコネクタを接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。故障、破損の原因となります。
- 移動するときは、本端末をパソコンから取り外してください。故障、破損の原因となります。
- 使用中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 専用ケース（試供品）から本端末を取り出す場合は、本端末を落とさないようにしてください。
- ご使用にならないときは、端子が汚れないように専用ケース（試供品）に入れて保管してください。端子が汚れていると接触が悪くなる場合があります。
- 専用ケース（試供品）に入れて保管する際は、水濡れや高温の場所での保管や、無理な力が加わらないようご注意ください。変形、変色の原因となります。

## ドコモUIMカードについてのお願い

- ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。故障の原因となります。
- ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。故障の原因となります。

## 注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク」が本端末の銘版シールに表示されております。

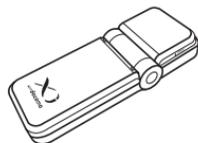
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- 通信中は、本端末を身体から5mm以上離してご使用ください。

## 本体付属品

- L-02C 本体（フロントカバー L01、リアカバー L20、保証書含む）



- L-02C取扱説明書～接続ガイド～



- L-02C CD-ROM

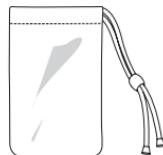
- L-02C 接続ソフト（Windows用／Macintosh用）
- L-02C 接続先（APN）設定ツール（Windows用）
- L-02C取扱説明書（PDF形式）



※ ソフトウェアの仕様は予告なく変更される場合があります。

- 専用ケース（試供品）

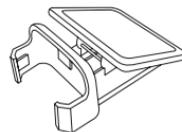
ご使用にならないときや持ち運びのときは、保護のため本端末を付属の専用ケースに入れてください。



- USB延長ケーブル（試供品）



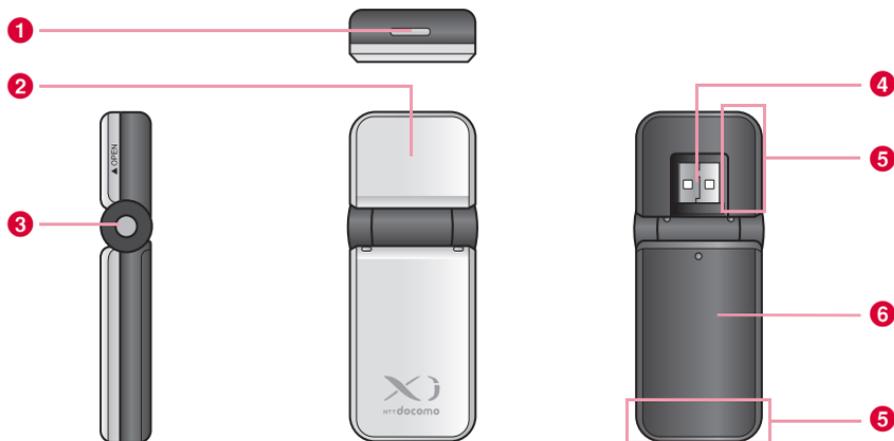
- 固定用ホルダ（試供品）



# ご使用前の確認

各部の名称と機能 .....	18
ドコモUIMカードを使う .....	19
本端末から利用できる通信 .....	23
本端末のパソコンへの取り付け方法 .....	24

## 各部の名称と機能



**1 通信状態表示ランプ→P19**

本端末の状態などを表示

**2 フロントカバー L01**

フロントカバー L01 を取り付ける部分をフロント部と呼びます。

**3 電源ランプ→P19**

本端末の電源供給状態を表示

**4 USBコネクタ**

パソコンとの接続端子

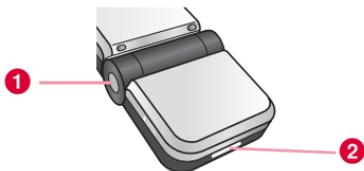
**5 アンテナ部**

アンテナは、本体に内蔵されています。

**6 リアカバー L20**

リアカバー L20 を取り付ける部分をリア部と呼びます。

## ランプ表示について



本端末の状態		①電源ランプ	②通信状態表示ランプ
電源ON		ホワイト	-
通信中	LTE	ホワイト	ブルー
	W-CDMA(3G)	ホワイト	マゼンタ
	HSDPA	ホワイト	シアン
	HSUPA	ホワイト	シアン
	GPRS	ホワイト	グリーン
	パケット通信中 (データ送受信なし)*	ホワイト	ブルーホワイト
圏外		ホワイト	イエロー
PIN1	PIN1 ロック	ホワイト	レッド
	PIN1コード 入力待ち	ホワイト	レッド

\* データ送受信が長時間無い状態

## ドコモUIMカードを使う

ドコモUIMカードは電話番号などお客様の情報が記録されているICカードのことで、本端末に取り付けないと、データ通信などを利用できません。ドコモUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

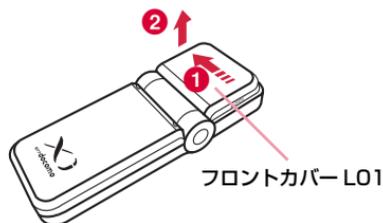
本端末では、FOMAカードはご使用できません。FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取替えください。

### 取り付けかた／取り外しかた

#### 取り付けかた

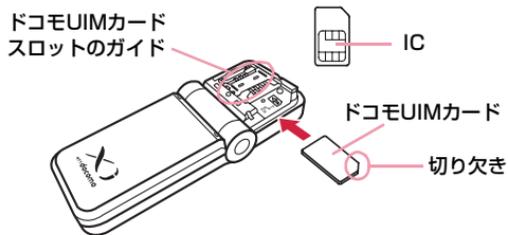
ドコモUIMカードを取り付けるときは、両手で持って行ってください。

- 1 フロントカバー-L01を①の方向へスライドさせ、②の方向に持ち上げて取り外す

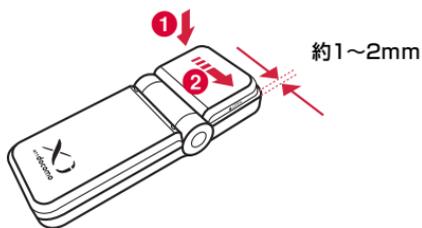


フロントカバー-L01

- 2** ドコモUIMカードのIC面を下にして、矢印の方向でドコモUIMカードスロットのガイドの下に差し込む



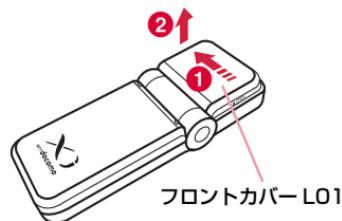
- 3** フロントカバー-L01を約1~2mmずらした状態で本端末の溝に合わせ、**1**の方向に押し付けながら**2**の方向へスライドさせ、カチッと音がするまで押し込む



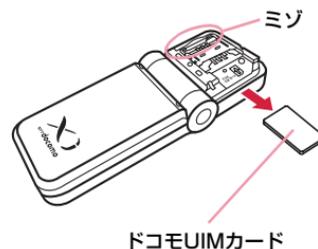
## 取り外しかた

ドコモUIMカードを取り外すときは、両手で持って行ってください。

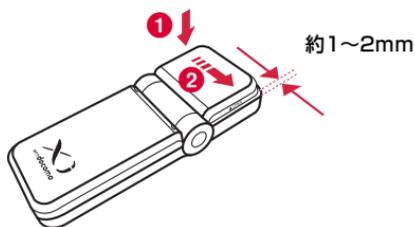
- 1** フロントカバー-L01を**1**の方向へスライドさせ、**2**の方向に持ち上げて取り外す



- 2** ドコモUIMカードスロットのミゾに指先をかけて、矢印の方向にスライドさせて取り外す

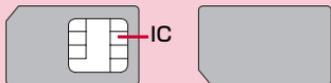


- 3 フロントカバーLO1を約1~2mmずらした状態で本端末の溝に合わせ、①の方向に押し付けながら②の方向へスライドさせ、カチッと音がするまで押し込む



#### お知らせ

- 取り外したドコモUIMカードはなくさないようにご注意ください。
- 必ずドコモUIMカードの各面を確認してください。



- ドコモUIMカードのICに触れたり、傷をつけたりしないように注意してください。
- ドコモUIMカードを逆向きに挿入すると、故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを無理に取り付けようとしていたり、取り外そうとすると、ドコモUIMカードが破損する場合があります。
- パソコンに本端末が接続されている状態で、ドコモUIMカードの取り付けまたは取り外しをしないでください。故障の原因となります。

#### 暗証番号

ドコモUIMカードにはPIN1コードという暗証番号があり、ご契約時には【0000】に設定されています。PIN1コードは第三者による無断使用を防ぐため、本端末の電源を入れる時、ユーザーを認識するための4~8桁の暗証番号です。

お客様のドコモUIMカードがPIN1コードを確認する設定になっている場合は、そのままデータ通信をすることができません。PIN1コードを確認してから利用するか、あらかじめドコモUIMカードの設定を、PIN1コードを確認しない設定(→P58)にしてから使用してください。

#### ■PIN1コードの変更

お客様のお好みで、番号を自由に変更できます。第三者による無断使用を防ぐため、お客様独自の番号に変更してください。なお、PIN1コード入力を3回連続して失敗すると自動的にロック(PIN1ロック)されますので、設定した番号はメモを控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。

- 「PIN1コード変更」(→P59)

#### ■PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。ご契約時にお渡しする契約申込書(お客様控え)に記載されています。なお、お客様ご自身では変更できません。PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、ドコモUIMカードがロックされます。

## ご注意

- 設定するPIN1コードは「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定したPIN1コードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- PIN1コードは、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一PIN1コードが他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- PIN1コードを忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

L-02C 接続ソフトを起動すると  
PIN1コード確認を表示



PIN1コードを入力  
3回連続入力失敗



PINロック解除コードを入力

OK

10回連続入力失敗



新しいPIN1コードを  
設定可能



ドコモショップ窓口  
お問い合わせください。

## 本端末から利用できる通信

### Xiデータ通信／FOMAパケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信方式です。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、Xiデータ通信またはFOMAパケット通信に対応した接続先を利用して、受信最大37.5Mbps、送信最大12.5Mbps（Xiエリア内一部の屋内施設では受信最大75Mbps、送信最大25Mbps）の速度でデータ通信を行うことができます。

※ 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などを用意しております。詳しくはmopera Uホームページをご覧ください。  
<http://www.mopera.net/>
- Xiエリアの帯域幅により規格上の通信速度は、受信速度（帯域幅 [20/15/10/5MHz]）：100/100/75/37.5Mbps、送信速度（帯域幅 [20/15/10/5MHz]）：50/37.5/25/12.5Mbpsとなります。
- Xiエリア外のFOMAハイスピードエリアにおいては、受信最大7.2Mbps／送信最大5.7Mbpsの通信となります。
- Xiエリア外およびFOMAハイスピードエリア外のFOMAエリアにおいては、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。
- アクセスポイントや電波状況によって通信速度は異なります。
- 海外でご利用の場合は、利用する海外事業者やネットワークにより通信速度が異なります。

### お知らせ

- 画像を多く含むホームページの閲覧、大容量ダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと、高額の通信料がかかりますのでご注意ください。
- ネットワークの混雑状況によって、通信が遅くなる、または接続しづらくなる場合があります。また、特にご利用の多いお客さま（当日を含む直近3日間のデータ通信量が約380MB以上）は、それ以外のお客さまと比べて通信が遅くなる場合があります。なお、一定時間内または1回の接続で大量のデータ通信があった場合、長時間接続した場合、一定時間内に連続で接続した場合は、その通信が中断されることがあります。
- 64Kデータ通信には対応しておりません。
- 本端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- 本端末は、FAX通信には対応していません。

## 利用にあたっての留意点

### ■ インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、利用するインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、Xi サービス利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただけます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などが利用できます。

「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

mopera Uのサービス内容および接続設定方法については、mopera Uのホームページをご確認ください。

<http://www.mopera.net/>

### ■ ネットワークアクセス時のユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容についてはそちらにお問い合わせください。

### ■ 通信条件

本端末で通信を行うには、次の条件が必要になります。ただし、条件が整っていても基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信できないことがあります。

- Xiのネットワーク、FOMAのネットワーク、またはドコモのローミングサービスエリア内であること
- アクセスポイントがXiデータ通信またはFOMAパケット通信に対応していること

## 本端末のパソコンへの取り付け方法

初めて本端末をパソコンに接続する時は、あらかじめL-02C 接続ソフト（ドライバ含む）をインストールする必要があります。L-02C 接続ソフトのインストールについては、下記を参照してください。

- Windowsの場合：「L-02Cを使用するための準備を行う」（→P34）
- Macintoshの場合：「L-02Cを使用するための準備を行う」（→P43）

## 取り付けかた

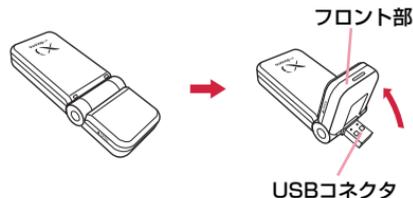
### 1 パソコンの電源を入れる

### 2 本端末をパソコンに接続する

#### ■ 固定用ホルダ（試供品）とUSB延長ケーブル（試供品）を使用する場合

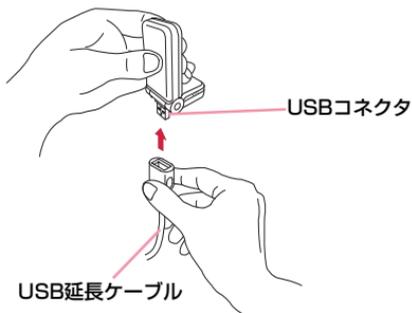
- 固定用ホルダとUSB延長ケーブルを利用してパソコンの上部に取り付けて使用します。

#### ① フロント部を図のように立てる

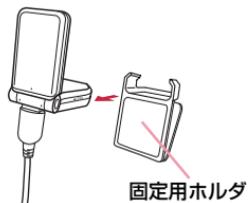


- ② USB延長ケーブルのコネクタ部分を持って、本端末側のUSBコネクタに、矢印の方向に差し込む

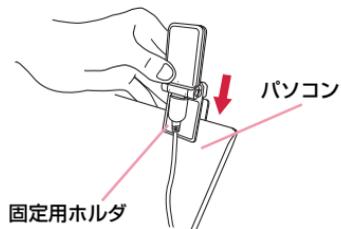
※ USBコネクタの奥まで、しっかりと差し込んでください。



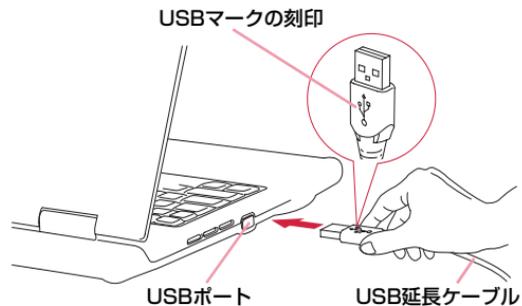
- ③ 固定用ホルダを本端末に取り付ける



- ④ 固定用ホルダをパソコンの上部に取り付ける



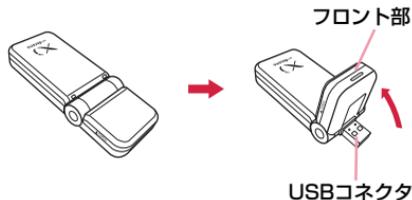
- ⑤ USB延長ケーブルのコネクタ部分を持って、パソコンのUSBポートに、USBマークの刻印のある面を上にして矢印の方向に差し込む



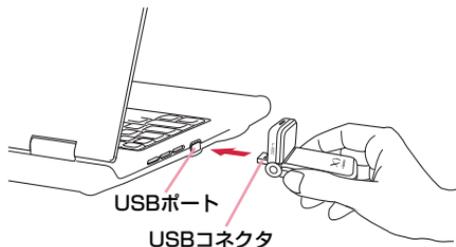
## ■ パソコンに直接接続する場合

- 本端末をパソコンのUSBポートに差し込んで、直接取り付けて使用します。

### ① フロント部を図のように立てる



### ② 本端末のUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む



※ 不注意によって本端末に衝撃や力を加えると、破損または故障の原因となることがあります。

## 3 通信接続を開始する

- 「L-02C 接続ソフト」を使用する場合 (→P51)
- モバイルブロードバンドを使用する場合 (→P63)
- 手動設定を使用する場合 (→P69)

### お知らせ



- 通信接続の開始時には、電源ランプがホワイト、通信状態表示ランプがブルー、マゼンタ、シアン、またはグリーンになっていることを確認してください。
- 本端末をパソコンに取り付けた時、タスクトレイに「さらに高速で実行できるデバイス」というメッセージが表示されることがありますが、そのままの状態を設定を変更することなくご使用になれます。
- 本端末をパソコンに取り付けた状態で、スリープ (スタンバイ) や休止の操作を行うと、復帰後に正常動作しなくなる場合があります。その場合には、本端末を取り外してからスリープ (スタンバイ) や休止の操作を行ってください。

## 取り外しかた

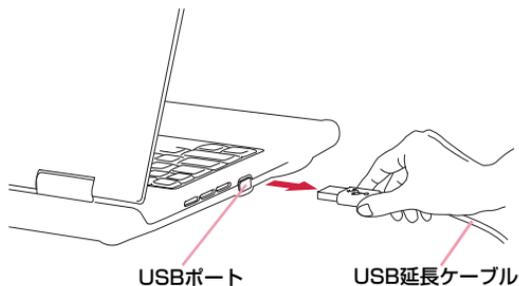
### 1 通信接続を終了する

L-02C 接続ソフトが起動またはL-02C 接続先 (APN) 設定ツールが起動している場合には、終了してください。データ通信をしている場合には、切断されていることを確認してください。

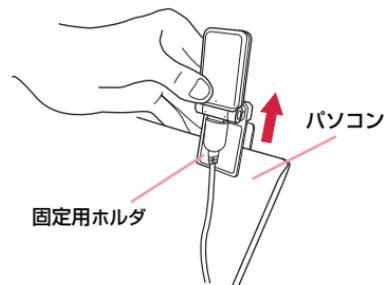
### 2 本端末を取り外す

■ 固定用ホルダ (試供品) と USB 延長ケーブル (試供品) を使用している場合

- ① USB延長ケーブルのコネクタ部分を持って、パソコンのUSBポートから、矢印の方向に引き抜く



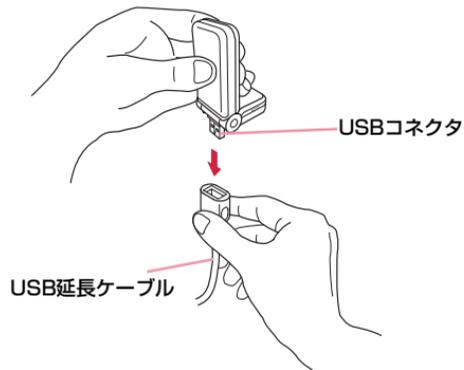
- ② 本端末を固定用ホルダと一緒にパソコンの上部から取り外す



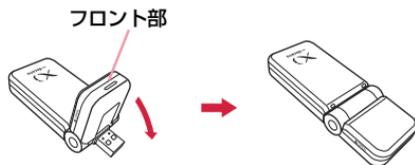
- ③ 本端末から固定用ホルダを取り外す



- ④ USB延長ケーブルのコネクタ部分を持って、本端末側のUSBコネクタから、矢印の方向に引き抜く

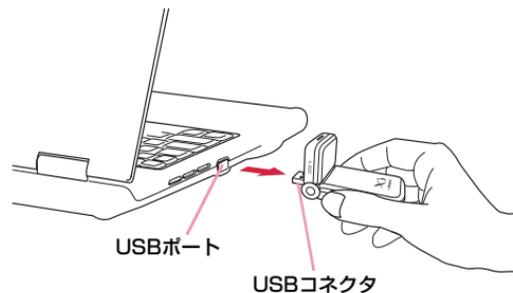


- ⑤ フロント部を図のようにまっすぐにする



- パソコンに直接接続している場合

- ① 本端末のUSBコネクタ部分を持って、本端末をパソコンのUSBポートからまっすぐ引き抜く



- ② フロント部を図のようにまっすぐにする



#### ご注意

- 無理に取り外そうとしたりUSBコネクタを引っ張ると、故障の原因となります。
- データ通信中に本端末をパソコンから取り外すと、データ通信が切断され、誤動作やデータ損失の原因となります。

# セットアップ

セットアップについて .....	30
Windows版 .....	33
Macintosh版 .....	43

## セットアップについて

### ■ L-02Cを使ってデータ通信を行うには

まず、本端末をパソコンに認識させるための「通信設定ファイル（ドライバ）」をインストールする必要があります。

L-02Cのセットアップでは、「通信設定ファイル（ドライバ）」だけでなく、データ通信用のソフトである「L-02C 接続ソフト」と「L-02C 接続先（APN）設定ツール」（Windowsのみ）も一緒にインストールできます。

L-02C 接続ソフトだけでもデータ通信を行うことができますが、必要に応じてモバイルブロードバンド（Windows 7のみ）を利用することもできます。

また、Windows OSを搭載したパソコンでは、L-02C 接続ソフトをインストール後、手動で通信設定をすることで、データ通信を行うこともできます。

### ■ L-02C 接続ソフトのインストールについて

L-02Cは、「ゼロインストール機能」を搭載しているため、初めて本端末をパソコンに接続した際、「L-02C 接続ソフト」のインストール画面が自動で起動します。この「ゼロインストール機能」は、Windows OSを搭載したパソコンに対応しています。「ゼロインストール機能」が正常に動作しなかった場合でも、付属のCD-ROMを使って「L-02C 接続ソフト」と「L-02C 接続先（APN）設定ツール」（Windowsのみ）をインストールすることができます。

なお、Macintoshの場合、「ゼロインストール機能」には対応していませんが、本端末をパソコンに接続するとCD-ROMのアイコンが画面に表示されますので、そこからインストール作業を進めることができます。

利用形態に応じたセットアップの流れを、次のページで説明しています。

## セットアップの流れ

本端末をパソコンに接続  
・ Windowsの場合▶P34  
・ Macintoshの場合▶P43

付属のCD-ROMを準備する  
・ Windowsの場合▶P38  
・ Macintoshの場合▶P46

L-02C 接続ソフト (ドライバ含む)、L-02C 接続先 (APN) 設定ツール (Windowsのみ) をインストール

セットアップ後の確認を行う  
・ Windowsの場合▶P39 / ・ Macintoshの場合▶P46

L-02C 接続ソフトを利用する場合

L-02C 接続ソフトでの環境設定▶P56

L-02C 接続ソフトを使って通信接続▶P52

Windows 7 のモバイルブロードバンドを利用する場合

モバイルブロードバンドを使って通信接続▶P65

手動設定の場合

手動による通信設定  
・ Windowsの場合▶P70

OSの機能を使って手動で通信接続  
・ Windowsの場合▶P86

## 動作環境を確認する

本端末を利用するための動作環境は以下のとおりです。

項目	必要環境
パソコン本体	<ul style="list-style-type: none"><li>PC/AT互換機、および、Macで、CD-ROMドライブが使用できること</li><li>USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev2.0準拠）</li><li>USBハブ（モニタやキーボードなどにあるUSBポートを含む）を経由しての動作は保証いたしかねます。</li><li>ディスプレイ解像度800×600ドット、16ビットカラー（65,536）以上を推奨</li></ul>
OS <sup>*1</sup>	Windows XP SP3以降（日本語版） Windows Vista SP2以降（日本語版） Windows 7（日本語版） Mac OS X 10.5.8（32bit 日本語版） <sup>*2</sup> Mac OS X 10.6.4（32bit 日本語版） <sup>*2</sup>
必要メモリ <sup>*3</sup>	Windows XP：256Mバイト以上 Windows Vista：512Mバイト以上 Windows 7：1Gバイト以上（32bit） Windows 7：1Gバイト以上（64bit） Mac OS X 10.5.8：512Mバイト以上 Mac OS X 10.6.4：1Gバイト以上
ハードディスク容量 <sup>*3</sup>	50Mバイト以上の空き容量

※1 OS のアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。

※2 Intel社製CPUを搭載したMacのみに対応しています。

※3 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

動作環境の最新情報については、ドコモのホームページにてご確認ください。

### お知らせ

- お客様の環境・機器によっては、ご使用になれない場合があります。また左記動作環境以外でのご使用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## Windows版

L-02C 接続ソフトのインストールは、利用するパソコンに初めて本端末を接続するときのみ行います。

※以降で示す手順や画面イメージは、Windows 7の場合の例で記載しています。

### お知らせ

- インストールを行う時は、OSが起動してからUSBポートに本端末を取り付けてください。
- ゼロインストール（自動）中は、付属のCD-ROMを、CDドライブに入れしないでください。
- インストール中は、本端末を取り外さないでください。
- ご使用のパソコンによっては、インストールに多少時間がかかる場合があります。
- データ通信中にインストールおよびアンインストールを行わないでください。
- インストールを始める前に、起動しているアプリケーションをすべて終了させてください。ウイルスチェックソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了させてください。
- インストールを行う場合、必ずパソコン管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールすると、エラーになります。
- パソコン管理者権限の設定操作については各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

### ■パソコンにCD/DVDの再生および書き込みソフトがインストールされている場合のご注意

一部のパソコンにインストールされている CD/DVD の再生および書き込みアプリケーションソフトのバージョンによっては、そのアプリケーションソフトが常駐\*もしくは起動している間に本端末を接続しても、正常に認識されない場合があります。

その場合の対処方法は、「故障かな?と思ったら」を参照してください。→P113

\*タスクトレイにアイコンが表示されている状態のソフトも含まれます。

## L-02Cを使用するための準備を行う

### ゼロインストール（自動）でセットアップを行う

#### 1 パソコンの電源を入れ、OSを起動する

#### 2 本端末をパソコンに接続する

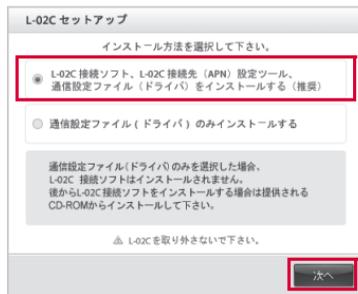
ゼロインストール機能により、L-02C 接続ソフトのセットアップ画面が自動で表示されます。

設定により「自動再生」画面が表示されることがあります。画面が表示されたら、「ソフトウェアとゲームに対しては常に次の動作を行う」をチェックし、「L02CLauncher.exeの実行」を選択してください。



- L-02C 接続ソフトのセットアップ画面が自動で表示されない場合は、付属のCD-ROMからインストールします。(→P38)

#### 3 「L-02C 接続ソフト、L-02C 接続先(APN)設定ツール、通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする(推奨)」を選択し、「次へ」をクリックする



#### ■ 通信設定ファイル（ドライバ）のみインストールする場合

- 1 「通信設定ファイル（ドライバ）のみインストールする」を選択し、「次へ」をクリックする
- 2 「ユーザー アカウント制御」画面で「はい」をクリックする
  - Windows Vistaの場合
    - 「ユーザー アカウント制御」画面で「続行」をクリックします。
  - Windows XPの場合
    - 「ユーザー アカウント制御」画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。
- 3 「使用許諾契約」の内容を確認のうえ、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックする
- 4 「次へ」をクリックする
- 5 「OK」をクリックする
- 6 本端末がパソコンに認識されることを確認する
- 7 以降は、「インストールしたL-02C 通信設定ファイル（ドライバ）を確認する」(→P39) に進む

#### 4 「ユーザー アカウント制御」画面で[はい]をクリックする

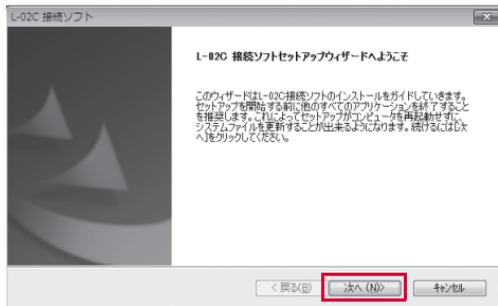
##### ■ Windows Vistaの場合

- 「ユーザー アカウント制御」画面で [続行] をクリックします。

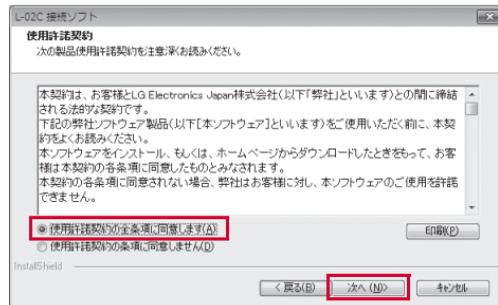
##### ■ Windows XPの場合

- 「ユーザー アカウント制御」画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。

#### 5 [次へ]をクリックする

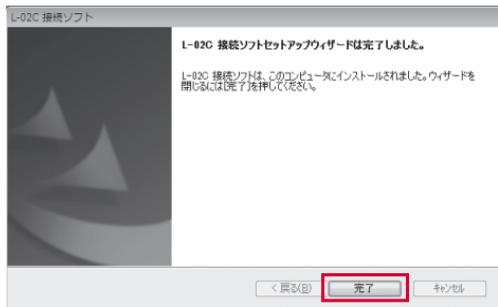


#### 6 「使用許諾契約」の内容を確認のうえ、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックする



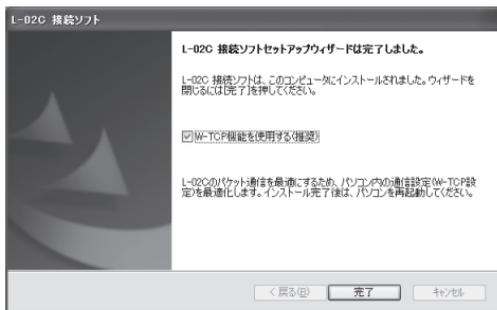
インストールがはじまります。

## 7 [完了]をクリックする



### ■ Windows XPの場合

- W-TCP機能を使用する場合（推奨）は、「W-TCP機能を使用する（推奨）」にチェックが付いていることを確認して「完了」をクリックします。



続いて、L-02C 通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが行われます。

※ご使用のパソコンによっては、次の手順まで多少時間がかかる場合があります。

## 8 本端末がパソコンに認識されることを確認する

右下側のタスクトレイに「デバイスドライバー ソフトウェアをインストールしています」とメッセージが表示され、本端末を自動で認識します。

※本端末を自動で認識させるために、L-02C 接続ソフト上に「L-02C が取り外されました。」と一時的にメッセージが表示されることがあります。しばらくすると本端末を認識します。



本端末が正常に認識されると、「デバイスを使用する準備ができました」とメッセージが表示されます。



### ■ Windows Vistaの場合

- 右下側のタスクトレイに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています」とメッセージが表示され、本端末を自動で認識します。



- 本端末が正常に認識されると、「デバイスを使用する準備ができました」とメッセージが表示されます。

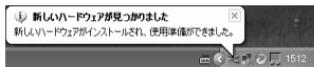


## ■ Windows XPの場合

- 右下側のタスクトレイに「新しいハードウェアが見つかりました」とメッセージが表示され、本端末を自動で認識します。



- 本端末が正常に認識されると、「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」とメッセージが表示されます。



## 9 Flash Playerをインストールする

お使いのパソコンにFlash Playerがインストールされていない場合は、メッセージが表示されます。以下の手順に従って、Flash Playerのインストールを行ってください。

### 1 [OK] をクリックする



### 2 「ユーザー アカウント制御」画面で【はい】をクリックする

Flash Playerのインストールがはじまります。

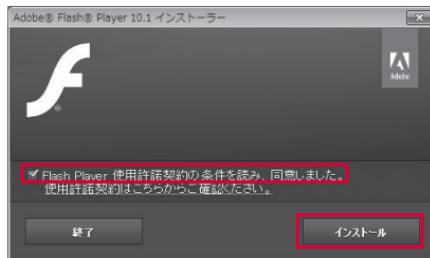
#### ■ Windows Vistaの場合

- 「ユーザー アカウント制御」画面で【続行】をクリックします。

#### ■ Windows XPの場合

- 「ユーザー アカウント制御」画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。

### 3 「使用許諾契約」の内容を確認のうえ、「使用許諾契約の条件を確認し、同意しました。」をチェックし、【インストール】をクリックする



### 4 【完了】をクリックする



これでインストールは完了です。  
[W-TCP機能を使用する (推奨)] にチェックを付けた場合は、インストール完了後にパソコンを再起動してください。

## 1 パソコンを起動後▶付属のCD-ROMをパソコンにセットする

設定により「自動再生」画面が表示されることがあります。画面が表示されたら、「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択してください。



## 2 付属のCD-ROM内の「Windows」▶「L-02C 接続ソフト、L-02C 接続先(APN)設定ツール」▶「LGCM\_02C\_v1.0.0.0J.exe」を選択する

### ■ 通信設定ファイル (ドライバ) のみインストールする場合

- 1 付属のCD-ROM内の「Windows」▶「Driver」▶「docomo\_LO2C\_ModemDriver\_WHQL\_Ver\_1.6\_All.exe」を選択する
- 2 「ユーザー アカウント制御」画面で [はい] をクリックする
  - Windows Vistaの場合
    - 「ユーザー アカウント制御」画面で [続行] をクリックします。
  - Windows XPの場合
    - 「ユーザー アカウント制御」画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。
- 3 「使用許諾契約」の内容を確認のうえ、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックする
- 4 [次へ] をクリックする
- 5 [OK] をクリックする
- 6 本端末をパソコンに接続する
- 7 本端末がパソコンに認識されることを確認する
- 8 以降は、「インストールしたL-02C 通信設定ファイル (ドライバ) を確認する」(→P39) に進む

## 3 以降は、「ゼロインストール(自動)でセットアップを行う」の手順4以降と同様に操作する(→P35)

※ なお、手順7で [完了] をクリックした後に、本端末をパソコンに接続してください。

このとき、設定により「自動再生」画面が表示されることがあります。画面が表示されたら、「ソフトウェアとゲームに対しては常に次の動作を行う」をチェックし、「LO2CLauncher.exeの実行」を選択してください。本端末がパソコンに認識されます。

## セットアップ後の確認を行う

### L-02C 接続ソフトを確認する

1 デスクトップ上にあるL-02C 接続ソフトのアイコン



をダブルクリックする

下の画面が表示されたら、インストール後の確認は完了です。



### お知らせ

- Windows 7の場合、モバイルブロードバンドの自動接続設定によっては、L-02C 接続ソフトを起動できません。モバイルブロードバンドの自動接続設定を「自動的に接続しない」に設定してください。  
→P65

### インストールしたL-02C 通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

L-02C 通信設定ファイル（ドライバ）がパソコンに設定されているかを確認します。

1 (スタート)▶「コントロールパネル」▶「システムとセキュリティ」を順にクリックする

#### ■ Windows Vistaの場合

- (スタート) ▶ 「コントロールパネル」 ▶ 「システムとメンテナンス」を順にクリックします。

#### ■ Windows XPの場合

- [スタート] ▶ 「コントロールパネル」 ▶ 「パフォーマンスとメンテナンス」 ▶ 「システム」を順にクリックします。

2 「デバイス マネージャー」をクリックする

#### ■ Windows Vistaの場合

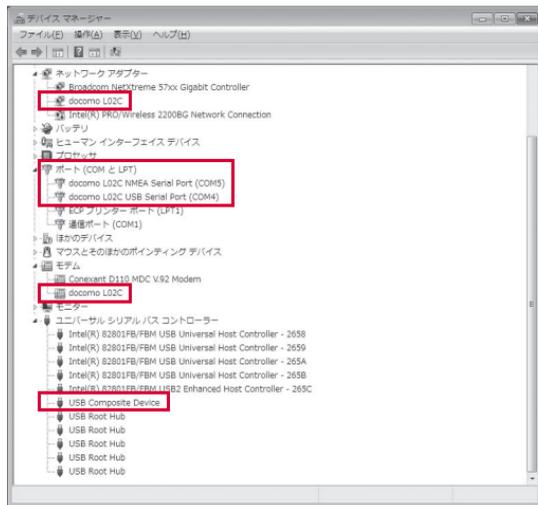
- 「デバイスマネージャ」 ▶ 「続行」をクリックします。

#### ■ Windows XPの場合

- 「ハードウェア」タブをクリック ▶ 「デバイスマネージャ」をクリックします。

### 3 各デバイス表示をクリックし、インストールされたドライバ名を確認する

- 「ネットワーク アダプター」「ポート (COMとLPT)」「モデム」「ユニバーサル シリアル バス コントローラー」の下にドライバ名が表示されているか確認してください。



- COMポート番号はユーザーやパソコンに応じて異なる場合があります。

OS	デバイス名	ドライバ名
Windows 7	ネットワークアダプター	docomo L02C
	ポート (COMとLPT)	docomo L02C NMEA Serial Port docomo L02C USB Serial Port
	モデム	docomo L02C
	ユニバーサルシリアルバスコントローラー	USB Composite Device
Windows Vista	ネットワークアダプタ	docomo L02C
	ポート (COMとLPT)	docomo L02C NMEA Serial Port docomo L02C USB Serial Port
	モデム	docomo L02C
	ユニバーサルシリアルバスコントローラ	USB 複合デバイス
Windows XP	ネットワークアダプタ	docomo L02C
	ポート (COMとLPT)	docomo L02C NMEA Serial Port docomo L02C USB Serial Port
	モデム	docomo L02C
	USB(Universal Serial Bus)コントローラ	USB 複合デバイス

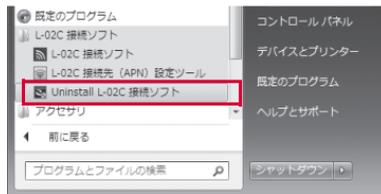
## お知らせ

- 本端末をパソコンのUSBポートに取り付けた後、本端末が認識されない場合は、他のUSBポートに取り付けてご確認ください。パソコンによっては特定のUSBポートでは本端末が認識されない場合もあります。
- L-02C 接続ソフトを使ってデータ通信を行う場合、L-02C 接続ソフトでの環境設定を行ってください。→P56
- Windows 7のモバイルブロードバンドでデータ通信を行う場合、モバイルブロードバンドで設定を行ってください。→P66
- L-02C 接続ソフトおよびWindows 7のモバイルブロードバンドのどちらも使わずにデータ通信を行う場合は、手動で設定してください。→P70

## L-02C 接続ソフト（ドライバ含む）をアンインストールする

- アンインストールする前に本端末をパソコンから取り外してください。
- アンインストールを行う場合、必ず管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。

### 1 (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「L-02C 接続ソフト」▶「Uninstall L-02C 接続ソフト」を順にクリックする



#### ■ Windows Vistaの場合

- (スタート) ▶ 「すべてのプログラム」▶ 「L-02C 接続ソフト」▶ 「Uninstall L-02C 接続ソフト」を順にクリックします。

#### ■ Windows XPの場合

- [スタート] ▶ 「すべてのプログラム」▶ 「L-02C 接続ソフト」▶ 「Uninstall L-02C 接続ソフト」を順にクリックします。

## 2 「ユーザー アカウント制御」画面で[はい]をクリックする

[いいえ] をクリックすると、アンインストールが中止されます。

### ■ Windows Vistaの場合

- 「ユーザー アカウント制御」画面で [続行] をクリックします。

### ■ Windows XPの場合

- 「ユーザー アカウント制御」画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。

## 3 「ファイル削除の確認」画面で[OK]をクリックする



## 4 「ユーザーデータ削除の確認」画面でユーザーデータを削除する場合は[はい]をクリックする



[いいえ] をクリックすると、ユーザーデータは削除されません。

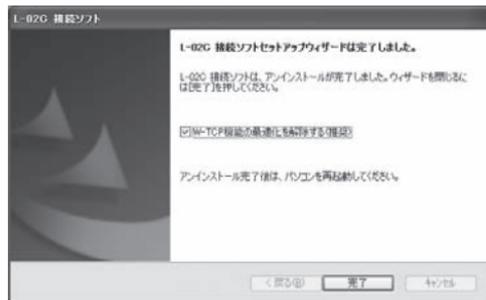
- [はい] をクリックした場合も、APN情報、接続方式 (IPv4、IPv4/v6、IPv6) は削除されません。

## 5 [完了]をクリックする



### ■ Windows XPの場合

- 「W-TCP機能の最適化を解除する (推奨)」にチェックが付いていることを確認して [完了] をクリックします。



これでアンインストールは完了です。

- アンインストール完了後は、パソコンを再起動してください。

## Macintosh版

L-02C 接続ソフトのインストールは、利用するパソコンに初めて本端末を接続するときのみ行います。

※以降で示す画面イメージは「Mac OS X 10.6」の場合の例です。「Mac OS X 10.5」の場合には画面イメージなどが異なります。

### お知らせ

- インストールを行う時は、OSを起動してからUSBポートに本端末を取り付けてください。
- 本端末からインストール実行中は、付属のCD-ROMを、CDドライブに入れないでください。
- インストール中は、本端末を取り外さないでください。
- インストールを始める前に、起動しているアプリケーションをすべて終了させてください。ウイルスチェックソフトを含む、Mac OS上に常駐しているプログラムも終了させてください。
- インストールを行う場合、必ず管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。

## L-02Cを使用するための準備を行う

### 本端末でセットアップを行う

- 1 パソコンの電源を入れ、OSを起動する
- 2 本端末をパソコンに接続する  
デスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。
- 3 CD-ROMのアイコンをダブルクリックする
- 4 「L-02C 接続ソフト インストーラー.pkg」をダブルクリックする



## 5 [続ける]をクリックする



## 6 [続ける]をクリックする



## 7 「使用許諾契約」の内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合は、[同意する]をクリックする



## 8 インストール先を選択し、[続ける]をクリックする



## 9 [インストール]をクリックする



## 10 管理者パスワードを入力▶[OK]をクリックする



## 11 [インストールを続ける]をクリックする



## 12 [再起動]をクリックする



パソコンが再起動します。これでインストールは完了です。一旦、本端末をパソコンから取り外してください。

## CD-ROMでセットアップを行う

### 1 パソコンを起動▶付属のCD-ROMをパソコンにセットする

デスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。

### 2 CD-ROMのアイコン▶「Mac」▶「L-02C 接続ソフト」を順にダブルクリックする

### 3 以降は、「本端末でセットアップを行う」の手順4以降と同様に操作する(→P43)

※ なお、手順12でパソコンが再起動した後に、本端末をパソコンに接続してください。

## セットアップ後の確認を行う

### L-02C 接続ソフトを確認する

#### 1 本端末をパソコンに接続する

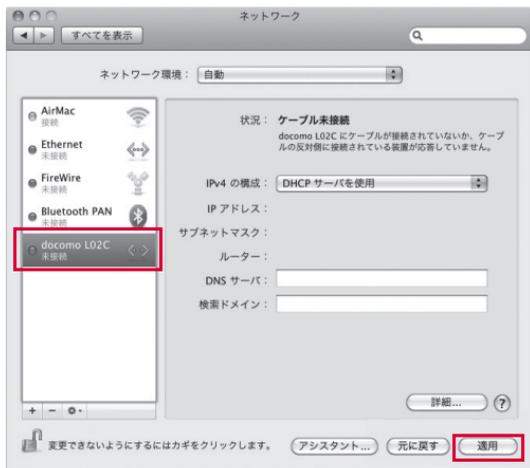
#### 2 デスクトップに表示されたCDイメージ(DOCOMOアイコン)をごみ箱にドラッグする

本端末がモデムとして認識されます。

#### 3 [“ネットワーク”環境設定]をクリックする



#### 4 「docomo L02C」を選択して、[適用]をクリックする



#### 5 「ネットワーク」画面を閉じる

#### 6 Finderを起動 ▶「アプリケーション」▶「L-02C 接続ソフト.app」を順にダブルクリックする

下の画面が表示されたら、インストール後の確認は完了です。

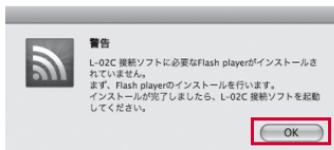


## ■ Flash Playerのインストール

お使いのパソコンにFlash Playerがインストールされていない場合は、L-02C 接続ソフトの初回起動時にメッセージが表示されます。以下の手順に従って、Flash Playerのインストールを行ってください。

1 Finderを起動 ▶ 「アプリケーション」 ▶ 「L-02C 接続ソフト.app」を順にダブルクリックする

2 [OK] をクリックする



3 「使用許諾契約」の内容を確認のうえ、「使用許諾契約の条件を読み、同意しました。」をチェックし、[インストール] をクリックする



4 管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする



5 [完了] をクリックする



これでインストールは完了です。

## お知らせ

- L-02C 接続ソフトを使ってデータ通信を行う場合、L-02C 接続ソフトでの環境設定を行ってください。→P56

## L-02C 接続ソフト（ドライバ含む）をアンインストールする

- アンインストールする前に本端末をパソコンから取り外してください。
- アンインストールを行う場合、必ず管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。

### 1 付属のCD-ROMをパソコンにセットする

デスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。

### 2 CD-ROMのアイコン▶「Mac」▶「L-02C 接続ソフト」を順にダブルクリックする

### 3 「アンインストーラ.app」をダブルクリックする



### 4 [アンインストール]をクリックする



### 5 管理者パスワードを入力▶[OK]をクリックする



### 6 再起動する前に、本端末がUSBポートに接続されていないことを確認する

### 7 [再起動]をクリックする



パソコンが再起動します。これでアンインストールは完了です。



# L-02C 接続ソフト

L-02C 接続ソフトについて .....	52
パケット通信を利用する .....	54
環境設定 .....	56

L-02C 接続ソフトは、Windows、Macintoshのどちらでも利用できます。Windows版とMacintosh版とでは画面の表示イメージが若干異なりますが、画面上のアイコンや利用できる機能は同じです。本章では、Windows版の画面イメージを例に掲載してあります。あらかじめご了承ください。

## L-02C 接続ソフトについて

L-02C 接続ソフトを利用すると、パソコンでのパケット通信がご利用いただけます。

### • パケット通信を利用する→P54

パケット通信を手軽に利用できます。

### • 環境設定→P56、P92

パケット使用量の確認、プロファイル設定、ドコモUIMカードのPIN1ロックの設定、本端末のリセット、ネットワークの設定（国際ローミング中のみ）、などを利用できます。

### お知らせ

- L-02C 接続先 (APN) 設定ツールを起動していると、L-02C 接続ソフトは起動できません。
- L-02C 接続ソフトの「接続先 (APN) 名」とL-02C接続先 (APN) 設定ツールの「接続先 (APN)」は連動しません。
- Windows 7の場合、モバイルブロードバンドの自動接続設定によっては、L-02C 接続ソフトを起動できません。モバイルブロードバンドの自動接続設定を「自動的に接続しない」に設定してください。→P65
- L-02C 接続ソフトを利用する場合は、有線LANおよび無線LANとの同時接続を行わないでください。
- L-02C 接続ソフトでのパケット通信は、より高速なNDIS方式（無線LANのような方式）となっております。従来のダイヤルアップでの接続を行うこともできます。→P73  
Macintoshでは、NDIS方式のみ対応しています。
- L-02C 接続ソフトと、ダイヤルアップ接続を同時に行うことはできません。

## L-02C 接続ソフトを起動する / 終了する (Windowsの場合)

### 起動する

- 本端末をパソコンに接続すると自動起動します。

### 終了する

- メイン画面の上端にある  をクリックします。

## L-02C 接続ソフトを起動する / 終了する (Macintoshの場合)

L-02Cをパソコンに接続すると、まずCD-ROMとして認識され、デスクトップ上にCD-ROMアイコンが表示されます。モデムとして認識させるために、CD-ROMアイコンをごみ箱にドラッグしてください。

### 起動する

- Finderを起動 ▶ 「アプリケーション」 ▶ 「L-02C 接続ソフト.app」

### 終了する

- メニューバー ▶ 「L-02C 接続ソフト」 ▶ 「L-02C 接続ソフトを終了」

## メイン画面の見かた

### ■ パケット通信中のメイン画面



### 1 バージョン情報ボタン

- クリックすると、L-02C 接続ソフトのバージョン情報が表示されます。
- 最新ソフトウェアの確認や設定ができます。(→P61)

### 2 本端末状態表示エリア

	電波受信レベル
	強 ← → 弱
	未接続状態※1 / パケット通信中 (データ送受信なし) ※2
	(圏外) サービスエリア外/電波が届かない所

	ネットワークの種類
	WCDMA W-CDMA※3, HSDPA HSDPA※4, HSUPA HSUPA※4, LTE LTE※5, GPRS GPRS※6
	パケット通信 パケット通信中,  パケット通信切断, パケット通信中 (データ送受信なし) ※2
	国際ローミング時 • 日本国内では、薄く表示されます。

※1 パケット通信中以外は受信感度のアンテナ本数は表示されません

※2 データ送受信が長時間無い状態

※3 [W-CDMA (3G)]

世界標準規格である3GPPに準拠した第3世代移動通信ネットワークです。3GPPとは、3rd Generation Partnership Projectの略です。第3世代移動通信システム (IMT-2000) に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※4 [HSDPA] (High Speed Downlink Packet Accessの略)

[HSUPA] (High Speed Uplink Packet Accessの略)

W-CDMAのデータ通信を高速化した規格です。第3世代 (3G) 携帯電話方式 [W-CDMA] の改良版であることから、「3.5G」とも呼ばれます。

※5 [LTE] (Long Term Evolutionの略)

第3世代携帯電話 (3G) と将来登場する第4世代携帯電話 (4G) との間の技術です。第3.9世代「3.9G」と呼ばれます。

※6 [GPRS] (General Packet Radio Serviceの略)

GSM通信方式を利用して高速パケット通信が可能な第2.5世代移動通信ネットワークです。

### 3 通信事業者表示エリア

- 「オペレータ名表示設定」が「表示する」に設定されている場合は、現在接続している事業者の情報が表示されます (国際ローミング中のみ)。(→P92)

#### 4 接続先 (APN) 名表示エリア

- 現在の接続先 (APN) 名が表示されます。

#### 5 インターネット自動接続のOn/Offスイッチ

- L-02C 接続ソフト起動時にインターネット接続を自動で行うかどうかを設定します。  
On/Offの切り替えは、スイッチをドラッグして行います。
- 国際ローミング中は、自動接続を利用できません。

#### 6 インターネット接続および切断ボタン

- インターネットの接続および切断時、このボタンをクリックします。

#### 7 動作ボタン

- メイン画面ボタン、設定ボタンがあります。

	メイン画面 (→P53)
	環境設定 (→P56)

#### 8 最小化ボタン

- Windowsで使用する場合、タスクトレイに常駐します。

#### 9 終了ボタン

- L-02C 接続ソフトを終了します。

#### 10 自局電話番号表示エリア

- 自分の電話番号が表示されます。

#### 11 データ通信情報表示エリア

- インターネット接続を行っている間、接続時間や使用量が表示されます。

## パケット通信を利用する

メイン画面で自動接続をOnに設定すると、本端末をパソコンに接続するだけでL-02C 接続ソフトが起動し、パケット通信が使用できます。Macintoshでは、メイン画面で自動接続をOnに設定した状態でL-02C 接続ソフトを起動すると、パケット通信が使用できます。

※ お買い上げ時の設定は、自動接続がOnの状態となっております。そのため、L-02C 接続ソフトを起動すると、パケット通信が開始されます。

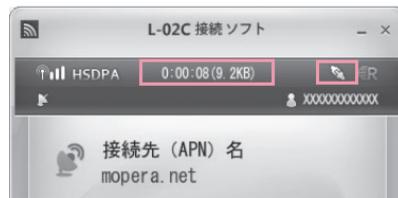
## パケット通信を開始する

### 自動接続がOnの場合

- あらかじめ、自動接続をOnに設定してください。

### 1 本端末をパソコンに接続する

- Windowsの場合は、L-02C 接続ソフトが自動起動します。Macintoshの場合は、手でL-02C 接続ソフトを起動させてください。
- メイン画面に接続状態アイコンが表示され、接続時間、使用量が表示されます。



## 自動接続がOffの場合

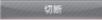
### 1 本端末をパソコンに接続する

- Windowsの場合は、L-02C 接続ソフトが自動起動します。Macintoshの場合は、手動でL-02C 接続ソフトを起動させてください。

### 2 メイン画面で をクリックする

- メイン画面に接続状態アイコン  が表示され、接続時間、使用量が表示されます。

#### お知らせ

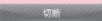
- 接続先 (APN) の初期設定が「mopera.net」になっています。接続先を変更するには、「プロファイル設定」で行います。→P57
- 接続に失敗した場合、「接続が失敗しました。再実行しますか。」というメッセージが表示されます。接続先が正しいか確認のうえ、再接続してください。
- パケット接続した状態で、パソコンをスリープや休止の状態にすると、復帰した後で再度パケット接続が正常に行われない場合があります。その場合は、パケット接続を終了し、端末をパソコンから取り外した状態で、スリープや休止の操作を行ってください。
- インターネット自動接続「On」の設定にしてある状態で、 をクリックした場合は、自動的に再接続しません。パケット通信を再度行なうには、 をクリックしてください。
- Macintoshの場合で、L-02C用NDISデバイスが確定されていない時に、“docomo L-02Cネットワークサービスが確認できません。ネットワーク設定からdocomo L-02Cネットワークサービスを追加してください。”というメッセージが表示されます。その場合には、アップルメニューから「システム環境設定」▶「ネットワーク」をクリックし、「適用」をクリックしてください。表示されているメッセージの「OK」をクリックすると、L-02C 接続ソフトが終了しますので、再度実行してください。

## パケット通信を終了する

### 1 メイン画面で をクリックする

パケット通信が終了します。

#### お知らせ

-  をクリックしても自動接続はOffになりません。自動で接続しないようにするには、自動接続をOffにしてください。
- ネットワーク状態および地域によって自動で切断される場合があります。
- パケット通信では受信および送信したデータ量によって料金が課金されます。画像などを多く含むホームページの閲覧、大容量のダウンロード、データ量が多い通信を行うと通信料が高額になりますので、ご注意ください。
- Windows 7の場合、モバイルブロードバンドの自動接続設定によっては、L-02C 接続ソフトを終了したときにモバイルブロードバンドによる通信が開始されます。自動的に接続しないようにするには、モバイルブロードバンドの自動接続設定を「自動的に接続しない」に設定してください。→P65

## 環境設定

- メイン画面で  をクリックすると、環境設定画面が表示されます。
- パケット通信中には環境設定画面を表示できません。環境設定をするにはパケット通信を終了してください。



L-02C 接続ソフトを使ってインターネット接続のための設定をするには、下記の事前準備が必要です。

### 1 プロファイルの設定

「プロフィール設定」の画面で、「接続先 (APN) 名」「ユーザー名」「パスワード」「認証方法」「接続方式」を設定します。(→P57)

「ネットワーク設定」では、ローミングなどの海外で使用する設定ができます。(→P92)

## パケット使用量を確認する

- 送受信したパケットの使用量を確認します。

### 1 環境設定画面で「使用量」をクリックする

パケット使用量が表示されます。



**全体使用量**：現在まで使用した全体の使用量

**リセット**：全体使用量をリセットします。

**今月の使用量**：今月の1日から現在までの使用量

**リセット**：今月の使用量をリセットします。

**前回の使用量**：最後に使用したデータ量

**リセット**：使用量をすべてリセットする場合にクリックします。

### お知らせ

- 表示されるデータ量は、あくまで目安であり、実際に使用したデータ量とは異なる場合があります。

## プロフィールを設定する

- パケット通信を行うための基本設定を行います。

### 1 環境設定画面で「プロフィール設定」をクリックする

### 2 次の操作を行う



**接続先 (APN) 名** : パケット通信を実行する場合の接続先

**ユーザー名** : プロバイダより提供されているユーザー名

**パスワード** : プロバイダより提供されている暗証番号

**認証方法** : 本端末を使用するための認証方法

**接続方式** : IPアドレス取得方法の選択

**設定** : 設定を変更する場合にクリックします。

**初期化** : 初期設定に戻す場合にクリックします。

### 3 [設定] をクリックする

確認のメッセージが表示されます。

### 4 [はい] をクリックする

### 5 [はい] をクリックする

## お知らせ

- [設定] をクリックしないと設定が更新されないため、設定変更時には忘れずにクリックしてください。
- ユーザー名、パスワードが間違った場合、インターネットに接続できません。
- 各プロフィールの内容は、各プロバイダやネットワーク管理者から指定された値を設定してください。設定を誤ると正常に接続できません。

## ドコモUIMカードを設定する

- ドコモUIMカードについて、[PIN1 ロック] [PIN1 ロック解除] [PIN1 コード変更] が設定できます。

### 1 環境設定画面で「[ドコモUIMカード]設定」をクリックする

ドコモUIMカード設定画面が表示されます。



## PIN1 ロック

- ドコモUIMカードにセキュリティを設定します。

### 1 ドコモUIMカード設定画面のPIN1モードで[PIN1ロック]を選択する



PIN1コード入力画面が表示されます。

### 2 ドコモUIMカードに設定しているPIN1コードを入力する



### 3 [OK]をクリックする

### 4 [はい]をクリックする

#### お知らせ

- PIN1 ロックの設定後、本端末を抜き差ししてからL-02C 接続ソフトを再起動した場合や、本端末リセットを実行後には、PIN1コード入力画面が表示されます。この場合、正確なPIN1コードを入力しないと、本端末を正常に利用できません。

## PIN1 ロック解除

### 1 ドコモUIMカード設定画面のPIN1モードで[PIN1ロック解除]を選択する



PIN1コード入力画面が表示されます。

### 2 ドコモUIMカードに設定しているPIN1コードを入力する



### 3 [OK]をクリックする

### 4 [はい]をクリックする

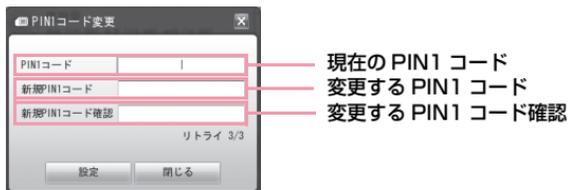
#### お知らせ

- PIN1 ロック解除が設定されていると、PIN1コードの確認なしにドコモUIMカードの情報を本端末で利用できます。

## PIN1コードを変更する

- PIN1 ロック解除またはPIN1 ロックをする時、必要な番号を設定します。
- PIN1コードを変更するためには、PIN1 ロック状態になっている必要があります。

### 1 ドコモUIMカード設定画面で[PIN1コード変更]をクリックする



- 2 ドコモUIMカードに設定している現在のPIN1コードを[PIN1コード]に入力する
- 3 変更するPIN1コードを[新規PIN1コード]に入力する
- 4 [新規PIN1コード確認]に、[新規PIN1コード]で入力したPIN1コードを入力する
- 5 [設定]をクリックする
- 6 [はい]をクリックする

## PIN1コードを入力する

- PIN1 ロックが設定された状態でL-02C 接続ソフトを起動した場合や本端末をリセットして再起動した場合、PIN1コード入力画面が表示されます。

### 1 PIN1コードを入力する

PIN1コードは4～8桁で入力します。



### 2 [OK]をクリックする

### 3 PIN1コード入力結果を確認する

**例1** : PIN1コード入力を正しく行った場合  
L-02C 接続ソフトのメイン画面が表示されます。

**例2** : PIN1コードが誤っている場合



**例3** : PIN1コード入力を3回連続して失敗した場合

- PIN1コード入力を3回連続して失敗した場合は、PINロック解除コード設定画面が表示されます。



#### ■ PINロック解除コード設定

- 1 ドコモUIMカードに入力されているPINロック解除コードを、[PINロック解除コード]に入力します。
- 2 変更するPIN1コードを [新規PIN1コード]に入力します。
- 3 [新規PIN1コード確認]に、[新規PIN1コード]で入力したPIN1コードを入力します。
- 4 [設定]をクリックします。

#### ご注意

- ドコモUIMカードを紛失しないようご注意ください。盗難や紛失による被害は当社としては責任を負いかねます。
- ドコモUIMカードを他人に譲渡しないでください。
- ドコモUIMカードに傷をつけたり、変形させないでください。保存されているデータが消失したり、変化したりする場合がございます。
- 本端末をパソコンに初めて取り付ける場合、PIN1ロックに設定されていると、当該PIN1コードを入力しなければドコモUIMカードは利用できません。
- PIN1コードを3回連続して間違えた場合、PINコードがロックされます。その場合は、PINロック解除コードを入力してください。
- PINロック解除コードを10回連続して間違えた場合、ドコモUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

## 本端末をリセットする

以下のような場合に本端末をリセットします。

- 正常に動作しない場合
- パソコンに本端末が取り付けられた状態でドコモ UIM カードを再挿入した場合

### 1 環境設定画面で **リセット** をクリックする



### 2 はい をクリックする



本端末のリセットが開始されます。リセットが完了すると、メイン画面に戻ります。

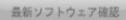
## 最新ソフトウェアを確認する

メイン画面 (→P53) の  をクリックして表示される画面で、最新ソフトウェアの確認や設定ができます。



**ON** : 接続ソフトを起動するたびに、自動で最新ソフトウェアの確認を行います。

**OFF** : 最新ソフトウェアの確認は、  をクリックして行います。

 : 最新ソフトウェアの確認をする場合にクリックします。

### お知らせ

- 最新ソフトウェアへの更新のしかたは、ドコモのホームページに掲載の、ソフトウェア更新手順を参照してください。
- Macintoshの場合は、ソフトウェア更新できません。Windowsで更新してください。



# モバイルブロードバンド

モバイルブロードバンドについて .....	64
モバイルブロードバンドで接続する .....	65
モバイルブロードバンドを切断する .....	66
接続先 (APN) の設定を変更する .....	66
ドコモUIMカードを設定する .....	67

## モバイルブロードバンドについて

Windows 7に搭載されているモバイルブロードバンドの機能を利用してパケット通信を行うことができます。モバイルブロードバンドを利用できるのは、Windows 7のみです。

本書では、モバイルブロードバンドの通信、切断、接続先 (APN) の変更、およびPINロック設定をご案内いたします。

詳しくはマイクロソフト社のホームページをご確認ください。

本端末を使ってインターネットに接続するためには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ (mopera Uなど) のご契約が必要です。

詳しくはドコモのホームページをご確認ください。

※ 以降で示す手順は、通信設定ファイル (ドライバ) のみをインストールした例で記載しています。

## 画面の見かた

### ■ 接続先の画面



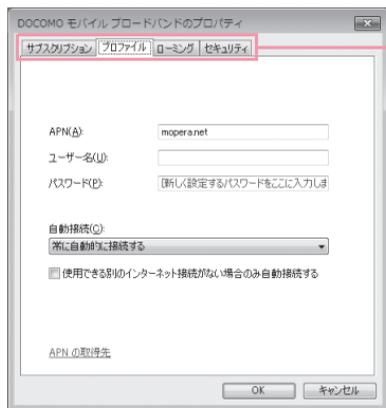
#### ① 現在の接続先

- モバイルブロードバンド接続中は、現在の接続先が表示されます。

#### ② 接続先一覧

- 接続先をクリックすると、接続ボタン/切断ボタンが表示されません。

## ■ 各種設定用のプロパティ画面



### 1 プロパティ画面の設定タブ

**サブスクリプション**：プロバイダの詳細、自局番号などを表示します。

**プロファイル**：接続先 (APN) や自動接続を設定できます。(→P66)

**ローミング**※：ローミング時に使用するネットワークを選択します。

**セキュリティ**：モバイルブロードバンド接続を行う際にPIN認証を行うかどうかを設定できます。(→P67)

※ 国際ローミング中のみ表示されます。

## モバイルブロードバンドで接続する

### 1 本端末をパソコンに接続する

• 接続方法 (→P24)

#### ■ 初めて接続する場合

- 1 右下側のタスクトレイに表示されている または をクリックする
- 2 「DOCOMO」を右クリックして「接続」をクリックする
- 3 各種設定を行う ▶ 「続行」をクリックする
  - 「アクセス ポイント名」欄に接続先を入力します。
  - 「ユーザー名」「パスワード」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。
  - 「mopera U」に接続する場合は、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも接続できます。
- 4 自動接続を設定 ▶ 「続行」をクリックする
  - プルダウンメニューで「常に自動的に接続する」「ローミング時を除いて自動的に接続する」「自動的に接続しない」から選択します。

### 2 プロファイルタブの自動接続設定に従って接続する

#### ■ 常に自動的に接続する場合

• 本端末を接続後に自動的に接続されます。

#### ■ ローミング時を除いて自動的に接続する場合

• 日本国内で利用している場合は自動的に接続されます。ローミング時は、「 自動的に接続しない場合」と同様に操作します。

#### ■ 自動的に接続しない場合

- 1 右下側のタスクトレイに表示されている または をクリックします。
- 2 「DOCOMO」を選択 ▶ 「接続」をクリックします。

## お知らせ

- 設定によりPIN1コード確認画面が表示されます。画面が表示されたら、PIN1コードを入力してください。
- モバイルブロードバンドで接続している場合には、L-02C 接続ソフトを使用した接続、および、ダイヤルアップ接続は同時には利用できません。  
L-02C 接続ソフト、または、ダイヤルアップ接続を利用するには、「切断」するか、モバイルブロードバンドの自動接続設定を、「自動的に接続しない」に設定してください。
- 「常に自動的に接続する」を選択した場合、長時間接続することにより、パケット送受信量が大量に発生する場合があります、通信料が高額になりますので、ご注意ください。
- 海外でのご利用時に「常に自動接続する」を設定している場合は、データ通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。

## モバイルブロードバンドを切断する

- 1 右下側のタスクトレイに表示されている  または  をクリックする
- 2 「DOCOMO」を選択▶[切断]をクリックする

## 接続先（APN）の設定を変更する

- 1 本端末をパソコンに接続する
  - 接続方法 (→P24)
- 2 右下側のタスクトレイに表示されている  または  をクリックする
- 3 「DOCOMO」を右クリックして「プロパティ」をクリックする
- 4 「プロファイル」タブをクリック▶各種設定を行う
  - 「APN」欄に接続先を入力します。
  - 「ユーザー名」「パスワード」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。
  - 「mopera U」に接続する場合は、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも接続できます。
  - 「自動接続」欄で「常に自動的に接続する」「ローミング時を除いて自動的に接続する」「自動的に接続しない」から選択します。
  - パソコンがLAN経由でインターネットに接続されている場合には、Windowsが自動的に接続を確立しないようにするには、「使用できる別のインターネット接続がない場合のみ自動接続する」をチェックします。
- 5 [OK]をクリックする

## ドコモUIMカードを設定する

- ドコモUIMカードについて、[PINの有効化] [PINの無効化] [PIN1コード変更] が設定できます。

### 1 本端末をパソコンに接続する

- 接続方法 (→P24)

### 2 右下側のタスクトレイに表示されている または をクリックする

### 3 「DOCOMO」を右クリックして「プロパティ」をクリックする

### 4 「セキュリティ」タブをクリックする▶各種設定を行う

- [PINの有効化] でPIN1ロックを設定できます。
- [PINの無効化] でPIN1ロックを解除できます。
- [PINの変更] でPIN1コードを変更できます。

## お知らせ

- PINを有効化した状態でモバイルブロードバンド接続をすると、PIN1コード入力画面が表示されます。この場合、正確なPIN1コードを入力しないと、本端末を正常に利用できません。
- PIN1コードを3回連続して間違えた場合、PINコードがロックされます。その場合は、PINロック解除コードを入力してください。
- PINロック解除コードを10回連続して間違えた場合、ドコモUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- PINの無効化が設定されていると、PIN1コードの確認なしにモバイルブロードバンド接続を利用できます。



# 通信の手動設定

Windowsの場合 ..... 70

## Windowsの場合

L-02C 接続先 (APN) 設定ツールを使って、手動でのダイヤルアップ接続に必要な設定を行います。

- L-02C 接続ソフトを起動していると、L-02C 接続先 (APN) 設定ツールは起動できません。

## 接続先 (APN) の設定をする

ダイヤルアップ接続でのパケット通信で使う接続先 (APN) を設定します。接続先 (APN) は最大10件設定でき、登録番号 (cid) で管理します。

- お買い上げ時、登録番号 (cid) 1にはmopera.netが設定されていますので、接続先を設定するときは、cid2~10に設定してください。
- 「mopera U」以外の接続先 (APN) については、ご利用のプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

### 1 本端末をパソコンに接続する

- 接続方法 (→P24)

### 2 デスクトップ上にあるL-02C 接続先(APN)設定ツールのアイコン をダブルクリックする

L-02C 接続先 (APN) 設定ツールが起動します。

### 3 設定する「CID番号」欄を選択▶[追加/編集]をクリックする



#### ■ 接続先 (APN) を削除する場合

- 1 削除する「CID番号」欄を選択する
- 2 [削除] をクリックする
- 3 [はい] をクリックする
- 4 [保存] をクリックする
- 5 [確認] をクリックする

#### ■ 接続先 (APN) を初期化する場合

- 1 [APN 初期化] をクリックする
- 2 [はい] をクリックする
- 3 [保存] をクリックする
- 4 [確認] をクリックする

#### 4 「APN」欄に接続先(APN)を入力▶[設定]をクリックする



#### 5 [保存]をクリックする

確認画面が表示されます。

#### 6 [確認]をクリックする

接続先 (APN) の設定が完了します。

#### Windows XPでハイパーターミナルを使用する場合

Windows XP標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

- Windows 7、Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。

#### 1 本端末をパソコンに接続する

- 接続方法 (→P24)

#### 2 [スタート]▶[すべてのプログラム]▶[アクセサリ]▶[通信]▶[ハイパーターミナル]を順にクリックする

ハイパーターミナルが起動します。

#### 3 「名前」欄に任意の接続先名を入力▶[OK]をクリックする

#### 4 「電話番号」欄に実在しない電話番号(「0」など)を入力▶[接続方法]に「docomo LO2C」と表示されていることを確認▶[OK]をクリックする

- 複数のモデム名が「接続方法」欄に表示されるときは、本端末のモデム名を確認して選択してください。(→P40)

#### 5 接続画面で[キャンセル]をクリックする

ハイパーターミナルの入力画面が表示されます。

## 6 接続先(APN)を入力▶を押す

AT+CGDCONT=<cid>,<PDP type>,<APN>の形式で入力します。

<cid>、<PDP type>、<APN>の部分には、それぞれ次の情報を任意で入力してください。

入力後、「OK」と表示されれば、接続先(APN)の設定は完了です。

**cid** : 2~10の内の任意の番号を入力します。  
※ 既にcidが設定されている番号を選択した場合は、設定が上書きされますのでご注意ください。

**PDP type** : 接続方式を入力します。IPを" "で囲んで入力します。

**APN** : 接続先(APN)を" "で囲んで入力します。

- 入力した文字が表示されない場合は、ATE1を入力してください。

### ■ 指定したcidの接続先(APN)の設定をリセットする場合

AT+CGDCONT=<cid>を入力します。

### ■ 設定されている接続先(APN)を確認する場合

AT+CGDCONT?を入力します。

## 7 「OK」と表示されることを確認する

## 8 「ファイル」▶「ハイパーターミナルの終了」を順にクリックする

## 9 切断の確認画面で[はい]をクリック▶保存の確認画面で[いいえ]をクリックする

ハイパーターミナルが終了し、接続先(APN)の設定が完了します。

### お知らせ

- 接続先(APN)は、本端末に登録される情報のため、異なる端末を接続する場合は接続先(APN)を登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先(APN)を継続利用する場合は、本端末の同じ登録番号(cid)に同じ接続先(APN)を登録してください。
- PDP Typeで接続方式を設定する時は、各プロバイダやネットワーク管理者から指定された内容を入力してください。

## ダイヤルアップネットワークを手動設定する

パソコンから通信（ダイヤルアップネットワーク）の設定をします。

- L-02Cでは、IPv6プロトコルのダイヤルアップネットワークをサポートしないため、IPv6プロトコルを初期設定でサポートしているWindows OSに対して、ダイヤルアップのプロパティを変更する必要があります。（Windows 7の場合→P76、Windows Vistaの場合→P80）
- 「mopera U」以外に接続する場合の設定内容については、ご利用のプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。

例：<cid>=1に登録されているドコモのインターネット接続サービス「mopera U」へ接続する場合

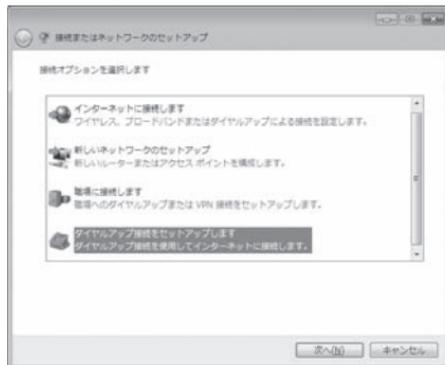
### Windows 7の場合

- 1 (スタート)▶「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット」▶「ネットワークと共有センター」を順にクリックする

- 2 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックする

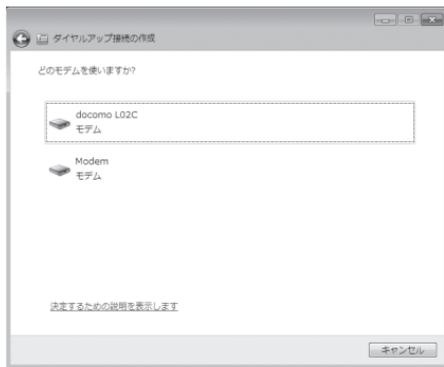


- 3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択 ▶「次へ」をクリックする

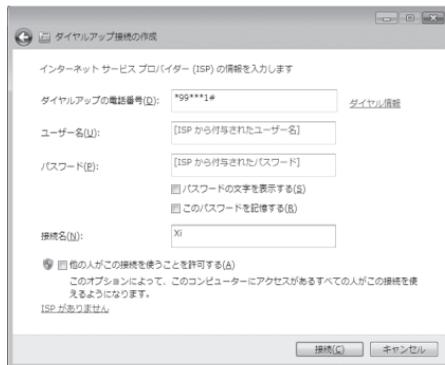


## 4 モデムの選択画面が表示された場合は「docomo L02C」をクリックする

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。



## 5 各種設定を行い、「接続」をクリックする



- 「ダイヤルアップの電話番号」欄に\*99\*\*\*<cid>#を入力します。<cid> には設定した接続先 (APN) の登録番号を入力します。(→P70)
- 「ユーザー名」「パスワード」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。
- 「mopera U」に接続する場合は、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも接続できます。
- 「接続名」欄に任意の接続名を入力します。

## 6 「(接続名)に接続中...」画面で[スキップ]をクリックする

接続テストは行わずに、設定のみ確認します。



## 7 [閉じる]をクリックする



## 8 (スタート)▶「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット」▶「ネットワークと共有センター」を順にクリックする

## 9 「アダプターの設定の変更」▶ 作成したダイヤルアップのアイコンを選択▶ 右クリックして「プロパティ」をクリックする

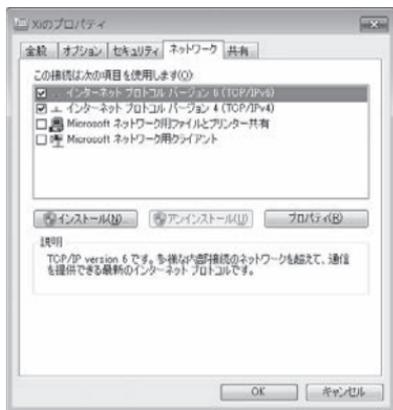
## 10 「全般」タブの画面で設定を確認する



パソコンに2 台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム - docomo L02C」のみにチェックが付いていることを確認します（チェックが付いていない場合には、チェックします）。

- 「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します（チェックが付いている場合は、チェックを外します）。

## 11 「ネットワーク」タブをクリック▶ 各種設定を行う

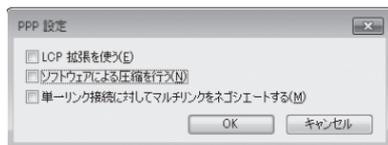


「この接続は次の項目を使用します」欄の「QoS パケットスケジューラ」の設定は、プロバイダまたはネットワーク管理者の指定に従ってください。その他の項目は変更しません。

- 「インターネットプロトコルバージョン6 (TCP/IPv6)」にチェックが付いていないことを確認します (チェックが付いている場合は、チェックを外します)。
- TCP/IP を設定する場合は、[プロパティ] をクリックします。設定については、プロバイダまたはネットワーク管理者に確認してください。

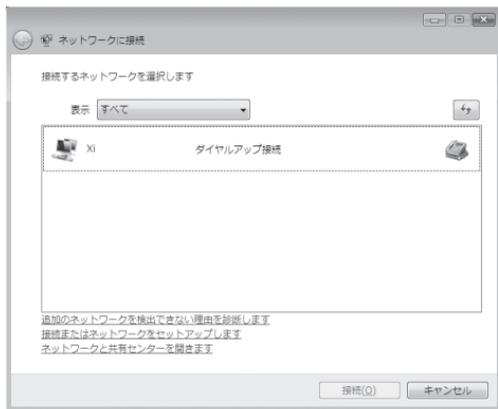
## 12 「オプション」タブをクリック▶ [PPP 設定] をクリックする

## 13 すべての項目のチェックを外す▶ [OK] をクリックする



## 14 「オプション」タブの画面で [OK] をクリックする

- 1 (スタート)▶「接続先」を順にクリックする
- 2 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする

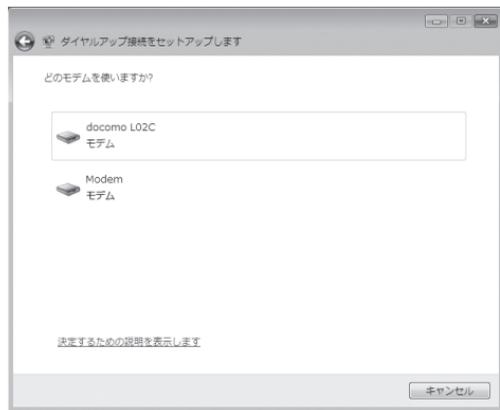


- 3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択  
▶「次へ」をクリックする



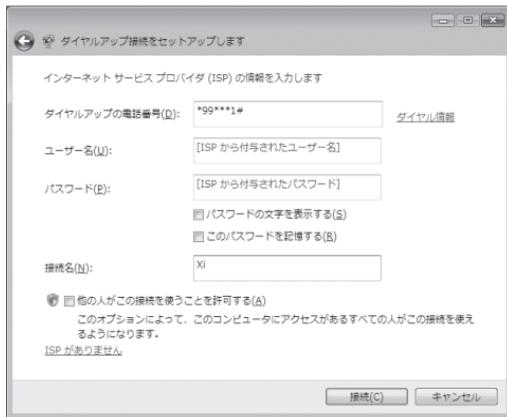
## 4 モデムの選択画面が表示された場合は「docomo L02C」をクリックする

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されません。



## 5 各種設定を行い、「接続」をクリックする

- 「ダイヤルアップの電話番号」欄に\*99\*\*\*<cid>#を入力します。<cid>には設定した接続先（APN）の登録番号を入力します。（→P70）
- 「ユーザー名」「パスワード」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。
- 「mopera U」に接続する場合は、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも接続できます。
- 「接続名」欄に任意の接続名を入力します。



## 6 「(接続名)に接続中...」画面で[スキップ]をクリックする

接続テストは行わずに、設定のみ確認します。

- [スキップ] をクリックしない場合、インターネットに接続されるのでご注意ください。



## 7 「接続をセットアップします」▶[閉じる]をクリックする



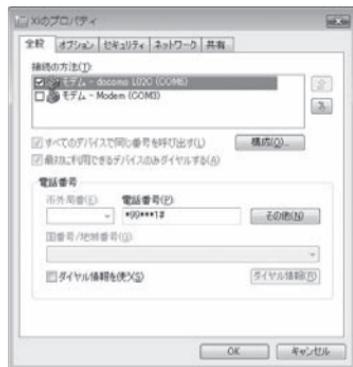
## 8 (スタート)▶「接続先」を順にクリックする

## 9 作成したダイヤルアップのアイコンを選択▶右クリックして「プロパティ」をクリックする

## 10 「全般」タブの各項目の設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム-docomo LO2C」のみにチェックが付いていることを確認します（チェックが付いていない場合には、チェックします）。

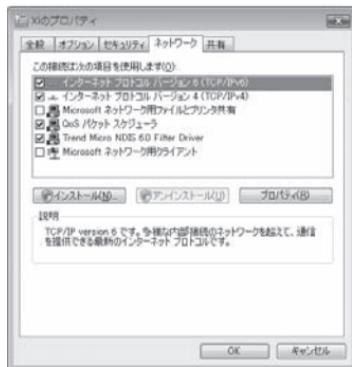
- 「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します（チェックが付いている場合は、チェックを外します）。



## 11 「ネットワーク」タブをクリック▶各種設定を行う

「この接続は次の項目を使用します」欄の「QoSパケットスケジューラ」の設定は、プロバイダまたはネットワーク管理者の指定に従ってください。その他の項目は変更しません。

- 「インターネットプロトコルバージョン6 (TCP/IPV6)」にチェックが付いていないことを確認します（チェックが付いている場合は、チェックを外します）。
- TCP/IPを設定する場合は、[プロパティ] をクリックします。設定については、プロバイダまたはネットワーク管理者に確認してください。



12 「オプション」タブをクリック▶ [PPP設定] をクリックする

13 すべての項目のチェックを外す▶ [OK] をクリックする



14 「オプション」タブの画面で [OK] をクリックする

## Windows XPの場合

1 [スタート]▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」を順にクリックする

2 新しい接続ウィザード画面で[次へ]をクリックする



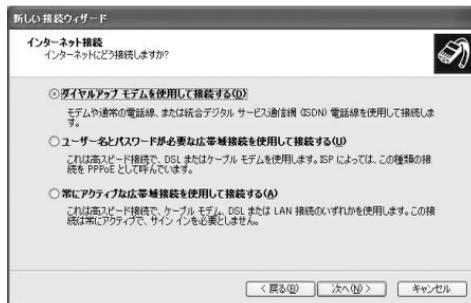
### 3 「インターネットに接続する」を選択▶[次へ]をクリックする



### 4 「接続を手動でセットアップする」を選択▶[次へ]をクリックする



### 5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択▶[次へ]をクリックする



### 6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は「モデム - docomo L02C」のチェックボックスをチェック▶[次へ]をクリックする

デバイスの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。



## 7 「ISP名」に任意の名前を入力▶[次へ]をクリックする

## 8 「電話番号」に接続先番号を入力▶[次へ]をクリックする

- \*99\*\*\*<cid>#を入力します。<cid>には設定した接続先 (APN) の登録番号を入力します。(→P70)

## 9 接続の利用範囲を選択▶[次へ]をクリックする

ユーザーの選択を任意で行ってください。

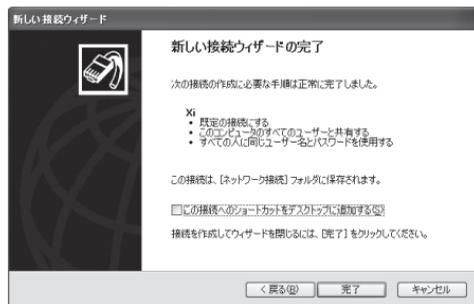
- パソコンの設定によっては、この画面が表示されない場合があります。

## 10 「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」の各欄を入力▶[次へ]をクリックする

プロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

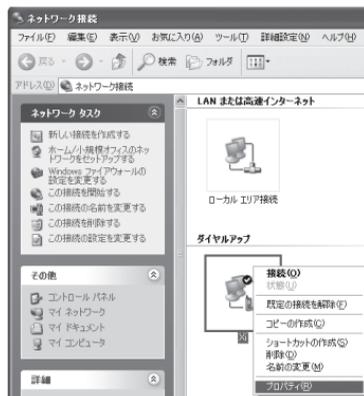
- 「ユーザー名」「パスワード」はご利用プロバイダの指示情報に従って大文字、小文字などに注意しながら正確に入力してください。
- 「mopera U」に接続する場合は、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも接続できます。

## 11 [完了]をクリックする



## 12 [スタート]▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリックする

## 13 作成したダイヤルアップのアイコンを選択▶右クリック▶「プロパティ」をクリックする



## 14 「全般」タブで設定を確認する

- パソコンに複数のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム - docomo L02C」のみチェックします。
- 「ダイヤル情報を使う」のチェックを外します。



## 15 「ネットワーク」タブをクリック▶各項目を確認

- 「呼び出すダイヤルアップ サーバーの種類」欄は、「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
- 「この接続は次の項目を使用します」欄は、設定を変更しません。
- プロバイダなどに接続する場合のTCP/IP設定は、プロバイダまたはネットワーク管理者に確認してください。



16 [設定]をクリックする

17 すべての項目のチェックを外す▶[OK]をクリックする



18 「ネットワーク」タブの画面で[OK]をクリックする

## 通信を行う(ダイヤルアップ接続する)

L-02C 接続ソフト/モバイルブロードバンドを使わない通信および通信の切断の操作について説明します。

- 通信する前に本端末がパソコンに正しく接続されていることを確認してください。(→P24)
- 通信するときは、設定に使用した端末を接続してください。異なる端末を接続した場合は、L-02C 接続ソフト(ドライバ含む)の再インストールが必要になる場合があります。
- L-02C 接続ソフトでPIN1 ロックを設定している場合、PIN1 設定を解除してから起動してください。

1 (スタート)▶「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット」▶「ネットワークと共有センター」▶「アダプターの設定の変更」を順にクリック▶設定した接続先のアイコンをダブルクリックする

### ■ Windows Vistaの場合

- (スタート) ▶ 「接続先」を順にクリック▶設定した接続先を選択▶「接続」をクリックします。

### ■ Windows XPの場合

- [スタート] ▶ 「すべてのプログラム」▶ 「アクセサリ」▶ 「通信」▶ 「ネットワーク接続」を順にクリック▶設定した接続先のアイコンをダブルクリックします。

## 2 「ユーザー名」「パスワード」を入力▶[ダイヤル]をクリックする

接続先に接続されます。

- 「mopera U」に接続する場合は、「ユーザー名」「パスワード」の各欄は空欄のまま、[ダイヤル] をクリックしても接続できます。その他のプロバイダやダイヤルアップ接続を選択した場合は、「ユーザー名」「パスワード」の各欄に入力し、[ダイヤル] をクリックしてください。
- ユーザー名とパスワードの保存、またはパスワードの保存にチェックを付けると、次回からは入力を省略できます。
- OS の種類によっては、ダイヤルアップを接続すると接続の完了画面が表示されます。ただし、以前に接続完了のメッセージを表示しない設定にした場合は、完了画面は表示されません。



## 通信を切断する

インターネットブラウザを終了しただけでは通信が切断されない場合があります。次の操作を行い、確実に切断してください。

### 1 パソコンのタスクトレイの (ダイヤルアップアイコン) をクリックする

接続状態を示す画面が表示されます。

### 2 接続先を選択▶[切断]をクリックする

通信が切断されます。



#### ■ Windows Vistaの場合

- 「接続または切断」▶「切断」をクリックします。

#### ■ Windows XPの場合

- 「[切断]」をクリックします。

## お知らせ

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。



# 海外利用

国際ローミング (WORLD WING) の概要 .....	90
海外で利用できるサービス .....	90
海外でご利用になる前の確認 .....	91
通信事業者の検索方法を設定する .....	92
ネットワークを設定する .....	92

## 国際ローミング (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している本端末をドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。

### ■対応エリアについて

本端末は3GネットワークおよびGPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

- 海外で本端末をご利用いただく前に、以下を合わせてご覧ください。
  - 『ご利用ガイドブック (国際サービス編)』
  - ドコモの『国際サービスホームページ』
- 海外ではXiエリア外のため3GおよびGPRSネットワークをご利用ください。

## 海外で利用できるサービス

サービス	説明
データ通信	パケット通信によるデータ通信が利用できません。

### お知らせ

- 国際ローミング中に利用できる通信サービスについて詳しくは『ご利用ガイドブック (国際サービス編)』または、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- L-02Cでは、日本国内含め、音声通話およびテレビ電話をご利用いただけません。

## 海外でご利用になる前の確認

STEP1：出発前の準備について

STEP2：滞在先での利用について

STEP3：帰国後の設定について

## 出発前の準備について

### ■ ご契約について

- 「WORLD WING」は通常ご契約時にあわせてお申込みいただいておりますが、My docomo、ドコモショップおよびドコモ インフォメーションセンターでご確認ください。
- 「WORLD WING」を契約したドコモUIMカードを本端末に取り付けておく必要があります。

### ■ 滞在先の国、地域の電源、電圧について

- 使用する国、地域によって電源電圧や、コンセントの形状が異なります。事前に、利用するパソコンの取扱説明書やパソコンメーカーのホームページなどで、利用方法を確認してください。

### ■ ネットワーク設定

- 海外でネットワークの設定を変更することができます。(→P92)

### ■ ご利用料金について

- 海外でのご利用料金（パケット通信料）は日本国内とは異なります。

### ■ インターネット利用について

- 海外でインターネットなどをご利用になる場合の海外アクセスポイントや設定方法については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
- mopera Uをご利用のお客様は、mopera Uのホームページをご覧ください。<http://www.mopera.net/>

## 滞在先での利用について

### ■ ネットワークの切り替えについて

お買い上げ時の設定では、接続先の検索と接続は自動で行われますので、特に設定を行う必要はありません。

### ■ メイン画面の表示について

「オペレータ名表示設定」が「表示する」に設定されている場合は、現在接続している事業者の情報が表示されます。(→P92)  
また、接続中のネットワーク情報が表示されます。(→P53)

### お知らせ

- ネットワークの切り替えを手動で設定することもできます。あらかじめ接続するネットワークがわかっているときなどに利用できます。「ネットワークを設定する」操作3(→P93)を参照してください。

## 海外でのお問い合わせについて

万が一、ドコモUIMカードを海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

## 帰国後の設定について

お買い上げ時の設定では、帰国後に自動的にXiエリアまたはFOMAエリアでご利用いただけます。

### ■ 接続できない場合

「ネットワークを設定する」(→P92)の「ネットワーク検索方法」を「自動検索」に設定してください。

## 通信事業者の検索方法を設定する

### 接続する通信事業者を手動で切り替える

お買い上げ時は滞在先で利用できるネットワーク(通信事業者)を自動的に検索して接続します。ご利用になる地域のネットワークがわかっている場合や、自動で適切に検索できない場合は、接続するネットワークを手動で設定することもできます。詳しくは「ネットワークを設定する」操作3(→P93)を参照してください。

## ネットワークを設定する

- L-02C 接続ソフトでネットワーク関連設定ができます。
- 国際ローミング中のみ設定することができます。

### 1 環境設定画面(→P56)で「ネットワーク設定」をクリックする



### 2 「3G/GPRS切替」で優先するネットワークを指定する

### 3 「ネットワーク検索方法」でネットワークの検索方法を指定する

#### ■【自動検索】

ネットワークを自動で検索して選択します。

#### ■【手動検索】※

- ・一覧で表示される通信事業者に手動で接続します。
- ・ネットワークを手動で設定する
  - [手動検索] を選択します。
  - [はい] をクリックします。
  - ネットワークを検索した後、一覧が表示されます。
  - ネットワークの一覧から、一つを選択します。
  -  をクリックします。
  - [はい] をクリックします。

※ 渡航先で手動検索でネットワーク選択した場合は、帰国後に「自動検索」に設定を戻してください。

### 4 「オペレータ名表示設定」でネットワーク情報を表示するかどうかを指定する

#### ■【表示する】

現在、接続しているネットワークの名前を画面に表示します。

#### ■【表示しない】

現在、接続しているネットワークの名前を画面に表示しません。

### 5 該当の をクリックする

該当の  をクリックしなければ入力した情報は設定できません。

### 6 [はい] をクリックする

### 7 [閉じる] をクリックする

#### お知らせ

- ・「オペレータ名表示設定」を「表示する」に設定しても国内（Xiエリア／FOMAエリア）在圏時には、通信事業者名は表示されません。
- ・手動検索機能を利用してネットワークを変更した場合、インターネットに接続できないことがあります。
- ・海外で利用する場合
  - 「ネットワーク検索方法」を「自動検索」に設定している場合は、利用中のネットワークのサービスエリア外に移動すると、自動的に他の利用できる通信事業者のネットワークを検索して接続し直されます。
  - 使用する通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。
  - 海外で利用する場合は、IPv6でインターネットに接続できません。「プロファイル設定」の「接続方式」を「IPv4IPv6」に設定するとIPv4でインターネットに接続します。「IPv6」に設定するとインターネットに接続できません。



# 付録／困ったときには

ATコマンドについて .....	96
ATコマンド一覧 .....	97
故障かな?と思ったら .....	113
こんな表示が出たら .....	116
保証とアフターサービス .....	117
ソフトウェア更新について .....	118
主な仕様 .....	119
輸出管理規制 .....	120
知的財産権 .....	122
索引 .....	124

## ATコマンドについて

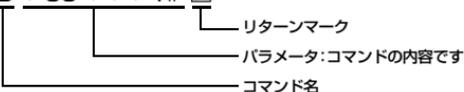
パソコンで本端末の機能の設定や状態の確認を行うためのコマンド（命令）です。通常は通信ソフトがATコマンドを発行するので、ATコマンドを意識する必要はありません。独自にATコマンドを入力し本端末を制御したい場合に利用します。

### ATコマンドの入力形式

ATコマンドの入力は通信ソフトのターミナルモード画面で行います。必ず半角英数字で入力してください。

<入力例>

ATD \* 99 \* \* \* 1# 



リターンマーク  
パラメータ:コマンドの内容です  
コマンド名

- ATコマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、必ず1行で入力します。通信ソフトのターミナルモード画面では最初の文字から  の直前の文字までが1行になります。

### お知らせ

- ターミナルモードとは、パソコンなどを1台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている回線に送られます。

## ATコマンド一覧

ATコマンド一覧は「L-02C」モデムポートで使用できるATコマンドです。

- [&F] : AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
- [?][=?] : コマンド後に[?]を付けると現在の設定を表示し、[=?]を付けると有効範囲を表示します。

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT	OKを表示します。	-	AT OK
AT&C<n> [&F]	TEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	n=0 : CD は常にON にします。 n=1 (初期値) : CD は相手モデムの状態に応じて変化します。	AT&C1 OK
AT&D<n> [&F]	TEからの回路ER信号を受信したときの動作を選択します。	n=0 : n=2と同じ n=1 : n=2と同じ n=2 (初期値) : ER信号がONからOFFになると回線を切断し、オフラインコマンド状態になります。	AT&D1 OK
AT&F<n>	本端末のATコマンド設定値を工場出荷時の設定値に戻します。通信中に実行した場合は、通信切断処理を行います。	n=0 のみ指定可能です。(省略可)	AT&F OK
AT+CEER	セットアップエラーレポートを表示します。	-	AT+CEER +CEER: 36  OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CEREG=<n> [&F] [?] [=?]	EPSネットワーク登録状況を通知するかどうかを設定します。	<p>&lt;n&gt; : 非請求リザルトコード送出有無の設定  n=0 : 非請求リザルトコードを送出しない(初期値)  n=1 : ネットワーク登録状態を非請求リザルトコードで送出する  n=2 : ネットワーク登録状態と位置情報を非請求リザルトコードで送出する</p> <p>&lt;stat&gt; : パケットデータ交換ネットワーク登録状態  stat=0 : エリア圏外かつサーチをしていない状態  stat=1 : エリア圏内(HOME)  stat=2 : エリア圏外かつAttach or サーチ中状態  stat=3 : 登録が拒否された状態  stat=4 : 不明(その他)  stat=5 : エリア圏内(ローミング中)</p> <p>&lt;lac&gt; : Location area code  本パラメータはstring parameterであり、出力時は"" で囲むこと。16進の2byte表記とする。</p> <p>&lt;ci&gt; : Cell ID  本パラメータはstring parameterであり、出力時は"" で囲むこと。16進の4byte表記とする。</p> <p>&lt;AcT&gt; : 在圏エリア  AcT=0 : GSM  AcT=2 : 3G (FOMA)  AcT=7 : LTE (Xi)</p> <p>&lt;rac&gt; : Routing area code  本パラメータはstring parameterであり、出力時は"" で囲むこと。16進の1byte表記とする。</p>	AT+CEREG? +CEREG: 2,1,"00C3","01","00 00C4D1",7  OK
AT+CGDCONT [?] [=?]	パケット発信時の接続先 (APN) を設定します。	P111 を参照	P111 を参照

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CGEQMIN [?] [=?]	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。	P111 を参照	P111 を参照
AT+CGEQREQ [?] [=?]	パケット通信の発信時に、ネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	P111 を参照	P111 を参照
AT+CGMR	本端末のIMEISV値を表示します。	-	AT+CGMR 1234512345123 456  OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CGREG=<n>[&F][?] [=?]	パケットネットワーク登録状況を通知するかどうかを設定します。	<p>&lt;n&gt;: 非請求リザルトコード送有無の設定  n=0: 非請求リザルトコードを送出しない(初期値)  n=1: ネットワーク登録状態を非請求リザルトコードで送出する  n=2: ネットワーク登録状態と位置情報を非請求リザルトコードで送出する</p> <p>&lt;stat&gt;: パケットデータ交換ネットワーク登録状態  stat=0: エリア圏外かつサーチをしていない状態  stat=1: エリア圏内(HOME)  stat=2: エリア圏外かつAttach or サーチ中状態  stat=3: 登録が拒否された状態  stat=4: 不明(その他)  stat=5: エリア圏内(ローミング中)</p> <p>&lt;lac&gt;: Location area code  本パラメータはstring parameterであり、出力時は"" で囲むこと。16進の2byte表記とする。</p> <p>&lt;ci&gt;: Cell ID  本パラメータはstring parameterであり、出力時は"" で囲むこと。16進の4byte表記とする。</p> <p>&lt;AcT&gt;: 在圏エリア  AcT=0: GSM  AcT=2: 3G (FOMA)  AcT=7: LTE (Xi)</p> <p>&lt;rac&gt;: Routing area code  本パラメータはstring parameterであり、出力時は"" で囲むこと。16進の1byte表記とする。</p>	AT+CGREG? +CGREG: 2,1,"00C3","0000C 4D1",6,"01"  OK
AT+CGSN	本端末の製造番号を表示します。	-	AT+CGSN 12345678901 2345  OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CIND [?] [=?]	本端末の電圧状態を表示します。 「AT+CIND=?」を実行すると 「+CIND:<battchg>,<signal>,<service>」の形式で表示されます。	<battchg> battchg=0~5：充電レベル ※ 非サポートとなります。  <signal> signal=1：アンテナが0本または1本表示される状態 signal=3：アンテナが2本表示される状態 signal=5：アンテナが3本表示される状態  <service> service=0：エリア圏外 service=1：エリア圏内	AT+CIND? +CIND:5,5,1  OK  AT+CIND=? +CIND:("battchg",(0-5)),("signal",(0-5)),("service",(0,1))  OK
AT+CLCK=<fac>,<mode>[,<passwd>] [=?]	PINロックの設定を変更、設定内容の問い合わせを行います。	<fac>：ロック種別 fac="SC"：ドコモUIMカードのPINロック設定操作  <mode>：ロック制御 mode=0：PINロック解除 mode=1：PINロック設定 mode=2：PINロック状態を表示  <passwd>：PINコード 「AT+CLCK="SC",2」を実行すると 「+CLCK:<state>」の形式で表示されます。  <state>：ロック状態 0：PINロックが解除されている状態 1：PINロックが設定されている状態	AT+CLCK="SC",0,"000"  OK  AT+CLCK="SC",2 +CLCK:1  OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CMEE=<n> [&F] [?] [=?]	本端末のエラーレポートの形式を設定します。	n=0: [ERROR] と表示します。(初期値) n=1: [+CMEE ERROR: xxxx] の形式 (xxxx は数字) で表示します。 n=2: [+CMEE ERROR: xxxx] の形式 (xxxx は文字) で表示します。  ※ ATZ、またはAT&Fコマンドを使用して初期化した場合、“0” に設定されます。L-02C に電源投入後と、ATZ、またはAT&Fコマンドを使用した場合の値が異なりますのでご注意ください。	AT+CMEE=0 OK  AT+CMEE? +CMEE:0  OK
AT+CNUM	本端末の自局番号を表示します。	[AT+CNUM] を実行すると 「+CNUM:<number>、<type>」の形式で表示されます。  number: 電話番号 type=129: 国際アクセスコード+を含まない type=145: 国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM +CNUM: ,"09012345678",1 29  OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+COPS= [<mode> [,<format> [,<oper> [,<AcT> ]]]] [?] [=?]	NWオペレータを選択設定します。	<mode>パラメータは、0-4をサポートしていません。  <format>パラメータは、2（初期値）のみサポートしています。  <oper> パラメータは、MCC/MNCで表示します。 例えば、PLMN Numberが440（MCC）10（MNC）である場合、<oper>="44010"となります。  <stat>パラメータは、以下をサポートしていません。 stat=0 : unknown stat=1 : available stat=2 : current stat=3 : forbidden  <AcT>: 在圏エリア AcT=0 : GSM AcT=2 : 3G (FOMA) AcT=7 : LTE (Xi)	AT+COPS=0 OK  AT+COPS? +COPS: 0,2,"44010",7 OK  AT+COPS=1,2,"44010",7 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CPAS [=?]	本端末への制御信号が使用できるかどうかを表示します。	「+CPAS:<n>」の形式で表示します。 n=0：可能 n=1：不可能 n=2：不明 n=3：可能かつ着信中 n=4：可能かつ通信中	AT+CPAS +CPAS:0  OK
AT+CPIN="PIN"/ AT+CPIN="PUK", "PIN" [?]	ドコモUIMカードのPIN1コードまたはPINロック解除コードを入力するためのコマンドです。	"PIN"にはPIN1コード、"PUK"にはPINロック解除コードを入力します。  「AT+CPIN?」を実行すると「+CPIN:<n>」が表示されます。 n=READY：認証済み n=SIM PIN：入力待ち n=SIM PUK：PINロック解除コード入力待ち n=ERROR：ロック状態	(+CPIN:SIM PIN 状態) AT+CPIN="1234" OK  (+CPIN:SIM PUK状態) AT+CPIN="12345678", "1234" OK
AT+CPWD=<fac> <oldpwd>,<newpwd> [=?]	PIN1コードのパスワードを変更します。	<fac> fac="SC"：ドコモUIMカードのPIN1コードの変更  <oldpwd><newpwd>は現在のPINコードおよび新しいPINコードを入力します。 「AT+CPWD=?」を実行すると「+CPWD:( <i>"SC"</i> ,<pwdlength>)」の形式で表示されます。 <pwdlength>はPINコードの最大文字数が表示されます。	AT+CPWD="SC",0000,1111 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CR=<mode> [&F] [?] [=?]	サービスレポートを表示するかどうか設定します。	<mode> 0: レポートを返しません (初期値)。 1: レポートを返します。	AT+CR=0 OK  AT+CR? +CR:0  OK
AT+CREG=<n> [&F] [?] [=?]	ネットワークの登録状態を通知するかどうかの設定、問い合わせを行います。	<n>: 非請求リザルトコード送出有無の設定 n=0: 通知しない (初期値) n=1: ネットワーク登録状況を非請求リザルトコードで送出する n=2: ネットワーク登録状況と位置情報を非請求リザルトコードで送出する  <stat>: 回線交換ネットワーク登録状態 n=0: エリア圏外、またサーチをしていない状態	AT+CREG=0 OK  AT+CREG? +CREG:0,0  OK
AT+CSQ [=?]	本端末の無線品質を表示します。	「AT+CSQ」を実行すると 「+CSQ:<rsqi>,<ber>」の形式で表示されます。  <rsqi> rsqi=0: -113dBm以下 rsqi=1: -111dBm rsqi=2~30: -109dBm~-53dBm rsqi=31: -51dBm以上 rsqi=99: 不明または未検出  <ber> ber=0~7: RXQUAL ber=99: 不明または未検出	AT+CSQ +CSQ:31,7  OK
AT+GCAP	本端末の能力リストを表示します。	-	AT+GCAP +GCAP:+CGSM,+W  OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+GMI	本端末の製造会社名を表示します。	-	AT+GMI LG Electronics Inc OK
AT+GMM	本端末名を表示します。	-	AT+GMM docomo LQ2C OK
AT+GMR	本端末のS/Wバージョンを表示します。	-	AT+GMR LQ2C-MDM9200- VXXX-XXX-XX- XXXX-DCM-JP OK
AT+HFC=<n>,<m> [&F] [?] [=?]	パソコンと本端末間のローカルフロー制御方式を設定します。	n : DCE by DTE の制御 n=0 : フロー制御を行いません。 n=1 : XON/XOFF フロー制御を行います。 n=2 (初期値) : RS/CS (RTS/CTS) フロー制御を行います。  m : DTE by DCE の制御 m=0 : フロー制御を行いません。 m=1 : XON/XOFF フロー制御を行います。 m=2 (初期値) : RS/CS (RTS /CTS) フロー制御を行います。	AT+HFC=2,2 OK  AT+HFC=1,1 OK  AT+HFC=0,0 OK
AT+WS46=<n> [?] [=?]	発信時に本端末が使用する無線ネットワークを設定します。	n=12 : 3GPP Systems ※ AT+WS46?の入力に対しては、25のみ応答されます。	AT+WS46=12 OK  AT+WS46? 25  OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。	コマンド入力後  は必要ありません。	A/ OK
ATA	オフラインコマンドモード時は、NO CARRIERを表示します。	-	ATA NO CARRIER
ATD	パケット発信をします。	パケット発信：ATD*99***<cid># <cid>1~10：+CGDCONT 設定したAPN を表 します。	ATD*99# CONNECT
ATE<n> [&F]	パソコンから送信された文字をエコーバック するかどうかを設定します。	n=0：エコーバックしません。 n=1（初期値）：エコーバックします。	ATE0 OK  ATE1 OK
ATH<n>	回線を切断します。	n=0（初期値）のみ指定できます。	ATH OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATI<n>	認識コードを表示します。	n=0 : [NTT DOCOMO, INC.] と表示します。 n=1 : 本端末名を表示します。(+GMM と同じ) n=2 : 本端末バージョンを表示します。(+GMR と同じ) n=3 : OKを表示します。 n=4 : 本端末の有する通信機能の詳細を表示します。	ATI NTT DOCOMO, INC.  OK  ATI0 NTT DOCOMO, INC.  OK  ATI1 docomo L02C  OK  ATI2 L02C-MDM9200- VXXX-XXX-XX- XXXX-DCM-JP  OK  ATI3 OK  ATI4 4  OK
ATSO=<n> [&F] [?]	自動着信時のRING数を設定します。	n=0 (初期値) : 自動受信しません。 n=1~255 : 指定したRING数で、自動受信します。	ATSO=0 OK  ATSO? 000  OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS3=<n> [&F] [?]	ATコマンドの文字列の最後を確認する復帰 (CR) キャラクタを設定します。	n=13 (初期値) のみ指定できます。	ATS3=13 OK
ATS4=<n> [&F] [?]	改行 (LF) キャラクタを設定します。英文字でリザルトコードを表示する場合は、復帰 (CR) キャラクタの次に付けられます。	n=10 (初期値) のみ指定できます。	ATS4=10 OK
ATS5=<n> [&F] [?]	ATコマンド入力中に入力バッファの最後のキャラクタを削除するバックスペース (BS) キャラクタを設定します。	n=8 (初期値) のみ指定できます。	ATS5=8 OK
ATS6=<n> [&F] [?]	ダイヤルするまでのポーズ時間を設定します。	n=2~10 : n秒ポーズします (初期値 : n=5)。	ATS6=5 OK
ATS8=<n> [&F] [?]	コマンドダイヤルのポーズ時間を設定します。	n=0 : ポーズしません。 n=1~255 : n秒ポーズします (初期値 : n=2)。	ATS8=3 OK  ATS8? 003  OK
ATS10=<n> [&F] [?]	自動切断遅延時間を設定します。	n=1~255 : n/10秒後に自動切断します (初期値 : n=1)。	ATS10=1 OK  ATS10? 001  OK
ATQ<n> [&F]	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。	n=0 (初期値) : リザルトコードを表示します。 n=1 : リザルトコードを表示しません。	ATQ0 OK
ATV<n> [&F]	リザルトコードの表示方法を設定します。	n=0 : 数字で表示します。 n=1 (初期値) : 文字で表示します。	ATV1 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATX<n> [&F]	ダイヤルトーンを検出するかどうか設定します。	n=0 : ビジートーン検出無し、ダイヤルトーン検出無し、速度表示なし n=1 : ビジートーン検出無し、ダイヤルトーン検出無し、速度表示あり n=2 : ビジートーン検出無し、ダイヤルトーン検出有り、速度表示あり n=3 : ビジートーン検出有り、ダイヤルトーン検出無し、速度表示あり n=4 (初期値) : ビジートーン検出有り、ダイヤルトーン検出有り、速度表示あり	ATX1 OK
ATZ	本端末のATコマンド設定値を工場出荷時の設定値に戻します。通信中に実行した場合は、通信切断処理を行います。	-	ATZ OK

## ATコマンドの補足説明

### ■ コマンド名: +CGDCONT

- 概要  
パケット発信時の接続先 (APN) の設定を行います。
- 書式  
+CGDCONT=[<cid>[," <PDP type>" [, " <APN>" ]]]
- パラメータ説明  
パケット発信時の接続先 (APN) を設定します。設定例は次のコマンド実行例を参照してください。  
<cid>\*<sup>1</sup>: 1~10  
<PDP type>\*<sup>2</sup>: IP  
<APN>\*<sup>3</sup>: 任意  
※1 <cid>は本端末内に登録するパケット通信での接続先 (APN) を管理する番号です。本端末では1~10が登録できます。  
お買い上げ時には<cid>=1に「mopera.net」が初期値として登録されていますので、cidは2~10に設定します。  
※2 <PDP type>はパケット通信のプロトコル方式です。お買い上げ時には<PDP type>=IPが<cid>=1の初期値として登録されています。  
※3 <APN>は接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。
- コマンド実行例  
abcというAPN名を登録する場合のコマンド (PDP typeはIP、cidは2の場合)  
AT+CGDCONT=2," IP" ," abc"  
OK
- パラメータを省略した場合の動作  
AT+CGDCONT=: すべての<cid>の設定をクリアします。  
ただし、<cid>=1の設定は、お買い上げ時の状態に再設定されます。  
AT+CGDCONT?: 現在の設定を表示します。

### ■ コマンド名: +CGEQMIN= [パラメータ]

- 概要  
パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS (サービス品質) を許容するかどうかの判定基準値を登録します。  
LTEデータ通信は非対応となります。
- 書式  
+CGEQMIN=<cid>[.,<Maximum bitrate UL>[.,<Maximum bitrate DL>]]]
- パラメータ説明  
<cid>\*<sup>1</sup>: 1~10  
<Maximum bitrate UL>\*<sup>2</sup>: なし (初期値)  
<Maximum bitrate DL>\*<sup>2</sup>: なし (初期値)  
※1 <cid>は本端末内に登録するパケット通信での接続先 (APN) を管理する番号です。  
※2 <Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は本端末と基地局間の上り、および、下り最大通信速度 [kbps] の設定です。なし (初期値) の場合は、すべての速度は許容しますが、値を設定した場合は、それ未満の速度での接続は許容しないため、パケット通信がつかない場合がありますのでご注意ください。
- コマンド実行例  
(1) 上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド (cidが2の場合)  
AT+CGEQMIN=2  
OK  
(2) 上り5,760kbps/下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド (cidが2の場合)  
AT+CGEQMIN=2,5760,7232  
OK  
(3) 上り5,760kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド (cidが2の場合)  
AT+CGEQMIN=2,,5760  
OK  
(4) 上りすべての速度/下り7,232kbpsの速度のみ許容場合のコマンド (cidが4の場合)  
AT+CGEQMIN=4,,,7232  
OK

## ■ コマンド名 : +CGEQREQ= [パラメータ]

- 概要  
パケット通信の発信時に、ネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
- 書式  
+CGEQREQ=[<cid>[,<Maximum bitrate UL>,<Maximum bitrate DL>]]
- パラメータ説明  
<cid>\*<sup>1</sup> : 1~10  
<Maximum bitrate UL>\*<sup>2</sup> : なし（初期値）  
<Maximum bitrate DL>\*<sup>2</sup> : なし（初期値）  
\*<sup>1</sup> <cid>は本端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。  
\*<sup>2</sup> <Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、本端末と基地局間の上り、および、下り最大通信速度 [kbps] の設定です。なし（初期値）の場合は、ネットワークのQoSを要求しません。
- コマンド実行例  
上り5,760kbps/下り7,232kbpsの速度で接続を要求する場合  
のコマンド（cidが2の場合）  
AT+CGEQREQ=2,2,5760,7232  
OK

### お知らせ

- 上記のコマンド（+CGDCONT,+CGEQMIN,+CGEQREQ）は&F、Zによるリセットは行われません。

## リザルトコード

### ■ リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意味
0	OK	正常に実行しました
1	CONNECT	相手と接続しました
3	NO CARRIER	回線が切断されました
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません
100	RESTRICTION	NW規制表示

## 故障かな？と思ったら

まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。(ソフトウェア更新⇒P118参照)

気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

### ■ 本端末が認識されない

症 状	チェックする箇所
本端末が認識されない	USBポートに本端末をもう一度奥までしっかりと差し込んでください。
	L-Q2C 通信設定ファイル（ドライバ）がインストールされ、正常に動作しているかを確認してください。→P33、P43
	本端末をパソコンに接続したまま起動、または、再起動を行った場合や、パケット通信中に、スタンバイ（スリープ）/休止状態から復帰した後、本端末が正しく認識されない場合があります。この場合は本端末をいったん取り外し、パソコンの再起動を行った後、再度本端末をパソコンに取り付けてください。 デバイスマネージャ上で、本端末のデバイスに、「！」が付いている場合には、いったん本端末のドライバを削除し、再度ドライバのみインストールしてください。
	PINロック解除コードを10回連続して失敗したドコモUIMカードは使用できません。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

症 状	チェックする箇所
本端末が認識されない	<b>■パソコンに CD/DVD の再生および書き込みソフトがインストールされている場合のご注意</b> 一部のパソコンにインストールされているCD/DVDの再生および書き込みアプリケーションソフトのバージョンによっては、そのアプリケーションソフトが常駐*もしくは起動している間に本端末を接続しても、正常に認識されない場合があります。その場合は、下記のいずれかの方法をお試しください。
	<b>■ 起動中のアプリケーションソフトを終了後、認識させる方法</b> <b>①</b> 本端末をパソコンから取り外す <b>②</b> CD/DVD再生および書き込みアプリケーションソフトの実行を終了させる <b>③</b> 本端末をパソコンに接続する
	<b>■  (DOCOMO) アイコンから認識させる方法</b> <b>●</b> Windows 7の場合 ・  (スタート) ▶ 「コンピュータ」の  (DOCOMO) アイコンをダブルクリックします。 <b>●</b> Windows Vistaの場合 ・  (スタート) ▶ 「コンピュータ」の  (DOCOMO) アイコンをダブルクリックします。 <b>●</b> Windows XPの場合 ・ [スタート] ▶ 「マイコンピュータ」の  (DOCOMO) アイコンをダブルクリックします。 ※タスクトレイにアイコンが表示されている状態のソフトも含まれます。

## ■ 通信時のトラブル

症状	チェックする箇所
通信できない	サービスエリア内で電波が届いていることを確認してください。
	ドコモUIMカード設定が「PIN1 ロック解除」になっているか確認してください。→P58 「PIN1 ロック」に設定されている場合、L-02C 接続ソフトを実行して、PIN1コードを入力してください。→P59
	本端末設定と接続先 (APN) 登録を確認してください。
	L-02Cを使用して手動接続できなくなった場合には、ダイヤルアップ接続のプロパティを開き、「接続の方法」にて、「docomo L02C」のみにチェックが付いているか確認してください。
	(パソコン内蔵モデムや、その他のモデムにチェックが付いている場合には、正しくバケット接続できません)
	インターネット自動接続設定を「On」に設定した場合でも、パソコンやNWの状態によって、自動接続できない場合があります。その場合には、本端末をいったん取り外し、再度パソコンに取り付けてください。
	本端末を使用してインターネット接続している時には、有線/無線LANや、他の通信機器は切断されていることを、ご確認ください。

## ■ ATコマンドに関するトラブル

症状	チェックする箇所
ATコマンドを入力したら「ERROR」が表示される	正しいATコマンドを入力しているか確認してください。 本端末以外の機器を選択していないかターミナルソフトのプロパティを確認してください。
ATコマンドを入力しても「OK」が表示されない	L-02C 通信設定ファイル (ドライバ) が正しく機能しているか確認してください。 ATまたはatで始まるコマンドになっているか確認してください。

## ■ ゼロインストールに失敗した

症状	チェックする箇所
新規ハードウェアの検出画面が表示された	「L-02Cセットアップ」画面が表示されず、ドライバの入力を求める画面になった場合は、いったんキャンセルを行い、本端末をパソコンのUSBポートから抜いてから、再度USBポートに取り付けてください。  ※ なお、パソコンの設定の影響などにより、インストールに失敗する場合には、付属のCD-ROMからインストールを行ってください。→P38
	OS起動中にゼロインストールを行わないでください。パソコンによっては、起動に数分かかる場合があります。必ずパソコンの動作が落ち着いてからインストールを行ってください。

## ■ その他トラブル

症 状	チェックする箇所
急に動作しなくなった	<p>本端末にドコモUIMカードが正しく挿入されているか確認してください。→P19</p> <p>周辺機器や他のソフトウェアをインストールしたことなどによりパソコンの環境が変わった可能性があります。お使いの周辺機器、またはソフトウェアの製造販売元、メーカーにご確認ください。</p>
L-02C 通信設定ファイル（ドライバ）を設定した後、本端末をパソコンのUSBポートに接続しても、ハードウェアを検出しない	<p>次のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• お使いのパソコンやOSの状態は最新の状態になっていますか？ （必要に応じて、OSやメーカーからの修正プログラムを適用してください。）</li> <li>• 本端末が認識されなかったUSBポートに、その他のUSBデバイスを取り付けた場合、正常に認識されますか？</li> <li>• 本端末を別のパソコンに取り付けた場合、正常に動作しますか？</li> <li>• パソコンを初期状態に戻した場合に、本端末は正常に動作しますか？</li> </ul> <p>※なお、OSやパソコンについての詳細は、マイクロソフト社やパソコンメーカー各社にお問い合わせください。</p>
急にインターネットの速度が遅くなる	<p>本端末をパソコンと直接取り付けている場合には、付属の「USB延長ケーブル（試供品）」を使用して、パソコンから離れた状態で、ご使用ください。</p> <p>LTE/W-CDMA/HSDPA/HSUPA/GPRS のサービス環境が不安定な地域では速度が遅くなることがあります。他の場所に移動して再度接続してください。</p>
リアカバーL20が外れた	<p>リア部の溝にリアカバーL20を合わせてスライドさせ、カチッと音がするまで押し込んでください。→P18</p>

## こんな表示が出たら

エラーメッセージ	説明
圏外	圏外または電波の届かない所にあるため、操作ができません。
使用可能ネットワークがありません。ネットワークを検索しますか。	設定されたネットワークが圏外または電波の届かない所にあるとネットワークのエラーが発生することがあります。再度、ネットワークの設定を行ってください。
L-02C リセットに失敗しました。	本端末のリセットに失敗しました。本端末がパソコンに正しく取り付けられているか、パソコンに認識されているか確認してください。
接続中には設定変更できません。設定のためには接続を解除してください。	データ通信接続中には、設定の操作ができません。データ接続が終わった後、再度設定を行ってください。
変更するPIN1コードと確認用のPIN1コードが異なります。再入力してください	2つの新しいPIN1コードが一致していません。新規PIN1コードと確認用PIN1コードが異なります。正しい新規PIN1コードを入力してください。
ドコモUIMカードが挿入されているか確認してください。	パソコンに取り付ける前に、必ずドコモUIMカードを本端末に挿入して、使用してください。
L-02Cが取り外されました。	本端末の使用中には本端末を抜かないでください。
PIN1コードの入力を3回失敗しました。PINロック解除コードを入力してください。	PIN1コードを連続して3回失敗したため、使用できる機能が制限されました。PINロック解除コードを入力して解除してください。
PIN1コードが違います。PIN1コードを再入力してください。(リトライ〇/3)	入力したPIN1コードが間違っています。正しいPIN1コードを再入力してください。
PIN1コードは、4～8桁の数字です	PIN1コードの有効桁は4～8桁です。
PIN1コードをPIN1ロックに設定してください。	PIN1コードの変更のためには、PIN1ロック設定が必要です。PIN1ロック解除状態からPIN1ロック状態に変更してください。
PIN1ロック解除コードが違います。再入力してください。(リトライ〇/10)	入力したPINロック解除コードが間違っています。正しいPINロック解除コードを再入力してください。
PINロック解除コードの入力を10回間違えたため、L-02Cがロックされました。ドコモの窓口までお問い合わせください。	PINロック解除コードを10回連続して失敗したドコモUIMカードは使用できません。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

## 保証とアフターサービス

### 保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

### アフターサービスについて

#### 調子が悪い場合は

- 修理を依頼される前にこの取扱説明書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでも調子が良くないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

### お問い合わせの結果、修理が必要な場合

- ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。  
なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

#### ■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモ指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

#### ■以下の場合、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
  - お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（コネクタなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
- ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

#### ■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

#### ■部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

## お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災、けが、故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承ください。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ・ 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - ・ 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障、損傷の場合は保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

## ソフトウェア更新について

インターネット上のダウンロードサイトから本端末の修正ファイルをダウンロードし、ソフトウェア更新を行います。ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページの「お知らせ」でご案内させていただきます。

### お知らせ

- ソフトウェア更新中は接続しているパソコンから本端末を取り外さないでください。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただけますようお願いいたします。

## 主な仕様

### ■ 対応OS

Windows XP Home Edition 日本語版 (Service Pack 3以降)  
Windows XP Professional 日本語版 (Service Pack 3以降)  
Windows Vista 32bit 日本語版 (Service Pack 2以降)  
Windows Vista 64bit 日本語版 (Service Pack 2以降)  
Windows 7 32bit 日本語版  
Windows 7 64bit 日本語版  
Mac OS X 10.5.8 (32bit 日本語版)  
Mac OS X 10.6.4 (32bit 日本語版)

### ■ 通信速度

受信最大37.5Mbps

送信最大12.5Mbps

(Xiエリア内一部の屋内施設では受信最大75Mbps、送信最大25Mbps)

- ※ 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。
- ※ Xiエリアの帯域幅により規格上の通信速度は、受信速度（帯域幅 [20/15/10/5MHz]）：100/100/75/37.5Mbps、送信速度（帯域幅 [20/15/10/5MHz]）：50/37.5/25/12.5Mbpsとなります。
- ※ Xi対応エリアの詳細についてはドコモのホームページをご確認ください。
- ※ Xiエリア外のFOMAハイスピードエリアにおいては、受信最大7.2Mbps／送信最大5.7Mbpsの通信となります。
- ※ FOMAハイスピードエリア内であっても、場所によっては送受信ともに最大384kbpsの通信となる場合があります。
- ※ Xiエリア外およびFOMAハイスピードエリア外のFOMAエリアにおいては、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。

### ■ 環境条件

動作時温度：5℃～35℃

動作時湿度：45%～85%

## ■ 電源

### 電源電圧

DC5V (パソコンにより給電)

### 消費電流\*1

通信時最大消費電流

LTE : 約680mA以下 (5/10MHz) ※2

3G : 約520mA 以下

GPRS : 約570mA 以下

通信時平均消費電流

LTE : 約380mA以下 (5/10MHz) ※3

3G : 約310mA 以下

GPRS : 約220mA 以下

待ち受け時平均消費電流

LTE : 約110mA以下

3G : 約100mA 以下

GPRS : 約100mA 以下

※1 使用状況により、消費電流は変動します。

※2 15/20MHzでは約740mA以下

※3 15/20MHzでは約420mA以下

## ■ 形状

USB接続タイプ

## ■ サイズ

高さ : 約90mm

幅 : 約35mm

厚さ : 約12.9mm

## ■ 質量

約44g

## ■ JATE認証番号

AD10-0278001

## 輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問い合わせください。

## European Union Directives Conformance Statement



Hereby, LG Electronics Inc. declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

CE0168

The above gives an example of a typical Product Approval Number.

## FCC Regulations

### Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Change or Modifications that are not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

## Class B Compliance

This device and its accessories comply with part 15 of FCC rules.

Operation is subject to the following two conditions:

- This device & its accessories may not cause harmful interference.
- This device & its accessories must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

## Body-worn Operation

This device has been tested for typical body-worn operations with the distance of 0.19 inches (0.5cm) from the user's body.

To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.19 inches (0.5cm) must be maintained from the user's body.

## Consumer Information on SAR (Specific Absorption Rate)

**THIS DEVICE MEETS THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.**

Your wireless device is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radiofrequency (RF) energy set by the Federal Communications 'Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The exposure standard for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.

- ※ Tests for SAR are conducted using standard operating positions specified by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output.

Before a device is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in positions and locations (e.g., worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this device when worn on the body is 0.77W/kg.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Gant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after searching on FCC ID BEJL02C. Additional information about Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications Industry Association (CTIA) web-site at <http://www.ctia.org/>.

## 知的財産権

### 著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用してインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などを行うことはできません。

### 商標について

- ・「FOMA」「iモード」「iアプリ」「mopera U」「WORLD WING」「Xi」「Xi/クロッシィ」および「Xi」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- ・Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter, Home Basic, Home Premium, Professional, Enterprise, Ultimate)の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista® (Home Basic, Home Premium, Business, Enterprise, Ultimate)の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- ・Windows 7、Vista、XPのように併記する場合があります。

- Apple、Appleロゴ、Mac、Mac OS、Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Adobe、Adobe Flash Player、およびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

# 索引

## ア

アンインストール	
L-02C 接続ソフト (ドライバ含む)	
(Macintoshの場合)	49
L-02C 接続ソフト (ドライバ含む)	
(Windowsの場合)	41
暗証番号	21
アンテナ	18
インストール	
通信設定ファイル (ドライバのみ)	
	34, 38
Flash Player (Macintoshの場合)	48
Flash Player (Windowsの場合)	37
L-02C 接続ソフト (ドライバ含む)	
(Macintoshの場合)	43
L-02C 接続ソフト (ドライバ含む)	
(Windowsの場合)	33
エラーメッセージ	116

## カ

海外利用	
海外通信事業者を検索	92
海外で利用する前の確認	91
海外で利用できる通信サービス	90
海外利用時のネットワーク設定	92
各部の名称と機能	18
環境条件	119
環境設定	56

形状	120
国際ローミング	90
故障かな?と思ったら	113
こんな表示が出たら	116

## サ

自局番号	54
仕様	119
商標	122
初期設定	57
セキュリティ設定	58
接続先(APN)の設定	57
手動設定 (Windowsの場合)	70
設定	
環境設定	56
初期設定	57
セキュリティ	57
接続先(APN)	57, 70
ダイヤルアップネットワークの手動設定	
	73
通信の手動設定	70
ドコモUIMカード	57
ネットワーク	92
セットアップ	30
ゼロインストール	30
ソフトウェア更新	118

## タ

対応OS	119
ダイヤルアップ接続/切断	
Windowsの場合	86, 87
ダイヤルアップネットワークの手動設定	
Windowsの場合	73
通信状態表示ランプ	18
通信速度	119
通信の手動設定	
Windowsの場合	70
電源	120
電源ランプ	18
動作環境	32
動作ボタン	54
ドコモUIMカード	
取り付け/取り外し	19
PINロック解除コード設定	60
PIN1 ロック	58
PIN1 ロック解除	58
PIN1コード入力	59
PIN1コード変更	59

## ナ

ネットワーク設定	92
ネットワークの種類	53

## ハ

バージョン情報	53
ハイパーターミナル	71
パケット通信	23, 54
パケット使用量確認	56
パケット通信条件	24
パケット通信の開始	54
パケット通信を終了	55
フロントカバー	18
保証とアフターサービス	117
本体付属品	16
本端末から利用できる通信	23
本端末の取り付け/取り外し	24

## マ

メイン画面	53
モバイルブロードバンド	64

## ヤ

輸出管理規制	120
--------	-----

## ラ

ランプ表示	19
リアカバー	16, 18
リザルトコード	112
リセット	61

## 英数字

ATコマンド	96
ATコマンド一覧	97
CE	120
European Union Directives Conformance Statement	120
FCC Regulations	121
Flash Player	37, 48
GPRS	53
HSDPA	53
HSUPA	53
LTE	53
L-02C 接続先 (APN) 設定ツール	70
L-02C 接続ソフト (ドライバ含む) 環境設定	56
起動/終了 (Macintoshの場合)	52
起動/終了 (Windowsの場合)	52
最新ソフトウェアの確認	61
初期設定	57
セキュリティ設定	58
セットアップ後の確認	39, 46
ドコモUIMカード設定	57
ネットワーク設定	92
パケット使用量確認	56
本端末のリセット	61
USBコネクタ	18
W-CDMA (3G)	53
WORLD WING	90



ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

**パソコンから My docomo (<http://www.mydocomo.com/>) ⇒ 各種お申込・お手続き**

※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。

※ 「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。

※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。

※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

## マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

◎こんな場合は必ず本端末を接続しているパソコンなどの電源を切ってください。

### ■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ず本端末を接続しているパソコンなどの電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではなくありません。ロビーや待合室などでも、本端末を接続しているパソコンなどの電源を切ってください。

### ■ 運転中の場合

運転中の本端末のご使用は、安全走行の妨げとなり危険です。

### ■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

### ■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

## 総合お問い合わせ先 (ドコモ インフォメーションセンター)

### ■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用いただけません。

### ■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

## 故障お問い合わせ先

### ■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用いただけません。

### ■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

## 海外での紛失、盗難、精算などについて (ドコモ インフォメーションセンター) (24時間受付)

### ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話  
アクセス番号 **-81-3-6832-6600\*** (無料)

\*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

### 一般電話などからの場合

(ユニバーサルナンバー)

ユニバーサルナンバー用  
国際識別番号 **-8000120-0151\***

\*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号 / ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された本端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心づばりを忘れずに。

## 海外での故障について (ネットワークオペレーションセンター) (24時間受付)

### ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話  
アクセス番号 **-81-3-6718-1414\*** (無料)

\*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

### 一般電話などからの場合

(ユニバーサルナンバー)

ユニバーサルナンバー用  
国際識別番号 **-8005931-8600\***

\*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号 / ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

販売元 株式会社NTTドコモ  
製造元 LG Electronics Inc.